



特集

フラメンコ人生、若手が輝く
Vida flamenca, brillo de los novatos

飲食業界向け講座

Curso de Español de Cocina

料理を通じて スペイン語習得

料理人やフードコーディネーターなど、食に関係する職業でスペイン語を必要とする方向向けの講座です。即戦力となるスペイン語を集中的に習得することを目指します。

ADELANTEで学ぶ

期間や目的に応じて、効率的に習得できるプログラムをご提案。

講師派遣

お一人からグループまで！オフィスや店舗で語学研修を実施。

詳しくはWEBで



www.adelante.jp/cocina

お問い合わせは
ADELANTEまで

TEL:06-6346-5554



POINT 1

スペイン語の基礎

スペイン語圏の飲食業界に必要なスペイン語の基礎を学びます。

POINT 2

コミュニケーション

すぐに使えるコミュニケーション技術をロールプレイで身につけます。

POINT 3

食品評論トレーニング

食品の評論を聞く、話すなど、食に関連する詳細な表現力を身につけます。

POINT 4

就活方法

スペイン語圏の就活生が知っておくべき現状をお伝えします。

通学の場合は、ADELANTE大阪校・神戸校の両校舎で開講できます。
受講日やレッスン回数はお気軽にご相談ください。



ミケルの スペイン料理会

2019
2月17(日)

参加費:5,500円
持ち物:エプロン、
三角巾、ふきん

お申込み

ADELANTE各校にて
参加費と合わせてお申
込ください

時 間

11時~16時頃まで

場 所

クレオ大阪東 クラフト調
理室 (大阪市立男女共同
参画センター 東部館)
大阪市城東区嶋野(しぎ
の)西2-1-21

アクセス

○JR京橋駅 南口から南
へ約600m

締め切り

2月13日(水)
(お申込後のキャンセルはでき
ません。ご了承ください)

お問い合わせ

ADELANTEまで
TEL:06-6346-5554

clase de cocina
española

MENÚ

"Paella" castellana (Arroz con carne y embutidos)

カスティーリャ地方の肉とシャルキュトリ(チョリソやウィンナーなど)の米料理

Chipirones en su tinta al estilo vasco

バスク風イカのイカ墨煮

Pintxo de cebolla caramelizada con pimiento verde y queso fundido

飴色玉葱、ピーマン、とろけるチーズのピンチョ

Crema de coco con frutos rojos y granizado de whisky

赤ベリー、ウイスキーのシャーベットを載せたココナッツプリン



Sumario

- 7 特集
フラメンコ人生、若手が輝く
- 16 Moda Española vol.3
バルセロナのモードを知る —Slow Fashionという新たな選択— 文 井上礼
- 22 スペインの老後の暮らし vol.1 文・写真 篠田有史
- 24 オリーブオイル本あれば! vol.2
Fabes con almejas 文・写真 渡辺万里
- 26 スペイン留学.jp
とって住みやすい街バレンシア
- 27 留学体験レポート(Españolé IH Valencia)
- 31 ADELANTEのスペイン語レッスン
初級 スペイン語で話そう Lección 18
位置を示す表現
- 32 実践 Español práctico vol. 12
フラメンコ用語
- 33 中級 スペイン語講座 Lección 36
関係詞の用法について(I) 文 仲井邦佳
- 34 上級 ビジネススペイン語 vol. 17
生産・技術分野の用語(II) 文 伊藤嘉太郎
- 35 イラスト解説 スペイン語 慣用表現 vol. 7
4対8個 Ejército, fuerza y cuerpos 軍隊、警察、治安警備隊
- 37 España y Japón 日本とスペインをつなぐ人びと 5°
スペインで注目を集める日本の「KOMEKO」 インタビュー・文 中村美和
- 38 音楽の時間
スペインが誇る名ピアニストたちの話 文 下山静香
- 40 おススメ Libros
『バスク地方の歴史』 マヌエル・モンテロ 著 萩尾生 訳 / 書評 川成洋
『ゆかいなセリア』 エレーナ・フォルトゥン 著 西村英一郎・西村よう子 訳 / 書評 川成洋
『スペイン子連れ漫遊記』 森久美子 著 / 書評 宮田渚
- 42 日西商業会議所
イビサ島とフォルメンテラ島の思い出
- 44 インスティトゥト・セルバンテス東京 イベントレポート
第3回スペイン語・スペイン語圏文化国際会議 文 ヴィルジーリオ麗奈
- 45 スペイン味うおっちゃん 第3回 文・写真 片岡治子
- 46 水彩画だより スペインの風景に魅せられて vol. 7 文・絵 牧瀬貞
スペインのお勧めパル・レストラン vol. 22 文・写真 中村美和
- 47 大学イベントレポート
「変わりゆく世界におけるスペインと日本」(京都外国語大学) 文 牛島万
「フラメンコとアヴァンギャルド 過去と現在」(京都大学こころの未来研究センター) 文 宮田渚
- 49 El Diario de ADELANTE



acueducto編集部では、皆さまからのメール・お便りを募集しています。スペイン情報誌 acueducto へのご意見・ご感想のほか、スペインにまつわるエピソードもお寄せください。

1. お名前 (ペンネーム) ※匿名希望の場合は、その旨を明記ください
2. お住まい 3. ご連絡先 4. メッセージ (写真入りのお便り・メールも大歓迎です)

宛先: 有限会社 ADELANTE

〒530-0001 大阪市北区梅田2-5-8 千代田ビル西別館2F info@acueducto.jp

・お寄せいただいたメッセージは、これからの誌面制作の参考にさせていただきます。また、acueducto 誌面や弊社ホームページ、宣伝物に掲載させていただく場合がありますので、掲載を希望されない場合は、「非公開希望」と明記ください。なお掲載にあたっては、文章の一部削除・変更させていただく場合がありますのでご了承ください。

- ・いただいた個人情報は上記以外の目的では使用いたしません。
- ・お便り・メールへの個別のお返事は差し上げておりません。
- ・お送りいただきましたお便り・写真は返却いたしません。あらかじめご了承ください。



acueducto 36

スペイン無料情報誌
enero 2019 vol.36

printed in Japan / FREE PAPER

表紙写真: 左から藤本ゆかり、諸藤ふみ、出水宏輝 (Farolito)
(以上3点 ©Yuki Omori)、大塚歩 (©清水洋子)

発行元:

有限会社 ADELANTE
〒530-0001 大阪市北区梅田2-5-8 千代田ビル西別館2F
Tel: 06-6346-5554 Fax: 06-6110-5122
info@acueducto.jp
www.acueducto.jp

ADELANTE Co., Ltd
2FL. Chiyoda Bldg. West Annex 2-5-8 Umeda Kita-ku Osaka
530-0001 Japón

www.facebook.com/acueducto.japan

[@acueducto_japon](https://twitter.com/acueducto_japon)

本誌の無断複写(コピー)は著作権法上の例外を除き、禁じられています。本誌の内容および広告に関しては、発行元の責任の限りではありません。本誌は一切の転売を禁じております。

Director: 編集長

Shoji Bando / 坂東省次

Editor: 発行

Alejandro Contreras / コントララス・アレハンドロ

Coordinación: 編集

Nagisa Miyata / 宮田渚

Diseño: デザイン

Koichi Hayashi / 林コイチ

Colaboradores en este número: 今号の執筆・校正協力

Kaname Ikemoto / 池本かなめ	Yuji Shinoda / 篠田有史
Yoshitaro Ito / 伊藤嘉太郎	Shizuka Shimoyama / 下山静香
Susumu Inada / 稲田進	Jun Tashiro / 田代淳
Rei Inoue / 井上礼	Mitsuo Tanaka / 田中光夫 (Alegre)
Reina Virgilio / ヴィルジーリオ麗奈	Michiaki Tsuchiya / 土屋満章 (Chagu)
Takashi Ushijima / 牛島万	Kohki Demizu / 出水宏輝 (Farolito)
Yukiko Okuno / 奥野裕貴子	Francisco Torregrosa / トレグロサ・フランシスコ
Ayumi Otsuka / 大塚歩	Kuniyoshi Nakai / 仲井邦佳
Haruko Kataoka / 片岡治子	Miwa Nakamura / 中村美和
Yo Kawanari / 川成洋	Jiro Hamada / 濱田悠郎
Hiroto Kuroda / 黒田敏登 (SIROCO)	Saya Hayashida / 林田紗綾
Tomoko Kobayashi / 小林祥子	Yukari Fujimoto / 藤本ゆかり
Yoko Komatsubara / 小松原麻子	Mitsugu Makise / 牧瀬貞
Elena Contreras / コントララス・エレナ	Fumi Morofuji / 諸藤ふみ
Kyoko Shikaze / 志風恭子	Mari Watanabe / 渡辺万里

Colaboradores:



Cámara de Comercio Hispano Japonesa
日西商業会議所



話せる楽しさを実感しながら、
スペイン語を身に付けよう！

アデランテで学ぶ理由



スペイン語 専門の教室

教室の中はスペイン一色！スペイン直輸入の書籍もたくさん販売しております。



講師は全員 ネイティブ

スペイン出身の講師だから、留学気分ですべてスペイン語を学べます。



グループレッスンは 振替制度あり

欠席しても安心です。事前にお知らせいただければ、他のクラスのレッスンを受講いただけます。



イベント もりだくさん！

生徒さん同士の交流も盛んです。皆さんスペイン・中南米好きなのですぐに仲良くなれますよ！



初心者対象の新しいクラスなので初めての方でも安心です。

スペイン語入門クラス開講

申込み
受付中

大阪校

開始日	曜日	時間帯
1/7～	月	18:30～19:20
1/15～	火	10:30～11:20
1/16～	水	18:30～19:20
1/17～	木	19:30～20:20
1/17～	木	20:30～21:20
1/19～	土	13:30～14:20

神戸校

開始日	曜日	時間帯
1/16～	水	19:30～20:20
1/17～	木	17:30～18:20
1/18～	金	15:30～16:20
1/19～	土	12:30～13:20

- まずは上記の各曜日の中から、ご都合の良い時間帯をお知らせください。日程が合わない方や、その他の曜日・時間をご希望の方は、お気軽にご相談ください。
- 学習経験者の方は、まずは体験レッスンをご予約ください。体験後、レベル別のレッスンの時間割をご案内いたします。

携帯・スマホから
こちらのQRコード
からWEBへ



体験レッスン当日にお申し込みで
入会金無料
(10,800円)

1レッスン:50分
[受講料]
3,680円 / 回
(月謝制)

各クラス定員6名



新春入会
キャンペーン
教材プレゼント！

お申し込み・お問い合わせ

大阪校

TEL:06-6346-5554

大阪市北区梅田2-5-8
千代田ビル西別館2F
JR大阪駅より徒歩6分

神戸校

TEL:078-230-2022

神戸市中央区磯辺通1-1-18
カサベラ国際プラザビル9F
JR三ノ宮駅より徒歩8分

info@adelante.jp

短期間で効率よくスペイン語を上達したい / 目的や内容に合わせたカリキュラム

短期1ヶ月集中プライベートコース

ガッツリ集中してスペイン語を学びたい方のための特別コースをご用意しました。お申込日から1ヶ月間の期間中、15回のプライベートレッスンをお好きな時間に予約して受講できます。学習内容の総復習、苦手分野の克服など、スペイン語の初心者から上級者まで全レベル対象。

通常より
9,720円
おトク！

各校 先着5名

1レッスン:50分
[受講料]
87,480円 / 15回
+教材費(入会金免除)

Club de Vinos **Vamos a beber!**
de ADELANTE vol. 7
第7回 ADELANTE
ワインクラブ

文化
OSAKA

スペイン語がわからなくても大丈夫です。スペイン語と日本語両方で解説いたします。

1月19日(土)13:30~15:20
[担当]ミケル
[対象]誰でも
[料金]5,000円

スペイン特産の美味しいワインのテイastingを楽しみましょう! 数種類のワインを試飲しながら原産地の風土や文化を学びます。



参加者に
抽選で当たる!
ワイン1本贈呈



協賛

選りすぐりの輸入ワインを取り扱う
株式会社オーデックス・ジャパン
〒108-0074 東京都港区高輪4-1-22
03-3445-6895
www.odexjapan.co.jp

サッカーで学ぶ
スペイン語 **Vamos a estudiar!**

文化
OSAKA

2月13日(水)19:30~20:20
[担当]アレックス
[対象]A2以上
[料金]受講生 3,000円 / 一般 3,500円

スペインといえばやっぱりサッカー! このクラスでは子供の頃からF.C. バルセロナの大ファン、アレックス先生がサッカーに関連するスペイン語を教えます。スタジアムやルールの用語はもちろん、憧れの選手を応援する言葉も覚えましょう!



スペイン語 特別クラス

入会不要、一般の方も参加できます。

大阪校&神戸校

お問い合わせ

info@adelante.jp

大阪校

TEL:06-6346-5554

神戸校

TEL:078-230-2022

・各特別クラスの価格は全て税込です。
・ADELANTEの受講生(大阪校・神戸校)は、受講生価格でお申しいただけます。
・クラスへのお申込・お支払は開講日の前日まで。お申込後のキャンセルは返金いたしかねますのでご了承ください。

スペイン語で
ディベート

全席
OSAKA
KOBE

大阪校 2月22日(金)19:30~21:20
4月26日(金)19:30~21:20
神戸校 1月25日(金)19:30~21:20
3月29日(金)19:30~21:20

[担当]アレハンドロ
[対象]B1以上
[料金]5,400円(各回)

ニュース、社会、流行、生活など、身近にある様々な話題について、スペイン語でディベートしてみましょう。自分の意見を積極的に発表する訓練ができます。DELE面接対策にもおすすめの特別クラスです。



話して遊んで飲んで

全席
OSAKA

1月11日(金)19:30~21:20
2月8日(金)19:30~21:20
3月8日(金)19:30~21:20
4月12日(金)19:30~21:20

[担当]アレハンドロ
[対象]誰でも
[料金]3,000円(各回)

好きなお酒・おつまみを持ち寄って、先生と一緒にスペインのカードゲームで盛り上がりましょう! スペイン語で会話を弾ませながら楽しい金曜日の夜を過ごしませんか? 自然と会話力UP!



スペインで話されている他言語もネイティブから学んでみましょう。

EUSKERA

バスク語&文化クラス

[日程]毎週土曜日10:30~11:20
[校舎]大阪校
[担当]ミケル(バスク州サン・セバスティアン出身)

・バスク語のアルファベット、挨拶、自己紹介
・旅行に役立つ語彙や表現、食文化に関する言葉
・バスク語をより深く知るための文化知識、歴史



CATALÁN

カタルーニャ語&文化クラス

[日程]毎週土曜日14:30~15:20
[校舎]神戸校
[担当]アレックス(カタルーニャ州バルセロナ出身)

・カタルーニャ語のアルファベット、挨拶、自己紹介
・数字や月日などの基本単語、動詞の活用
・日常会話に役立つ表現、言い回し、文化知識



料金 4,320円 / 回

・スペイン語の学習経験歴に関わらず、すべての方が受講できます。
・お申込み・お支払いは受講日の前日まで(当日のお支払い・キャンセルはできません)。
・上記の日程・校舎がご都合に合わない場合は、好きな校舎でそれぞれの言語クラスを受講できる自由予約制のプライベートコースもあります(6,480円 / 回)。受講日時は各校舎のスタッフにご相談ください。

各地のワイン文化を
深く知るための講座



ナビゲーター
Mikel Berradre
(サン・セバステヤン出身)



ミケルの スペインワインを 愉しむ日曜日

ENOTURISMO

スペインの4地方(ガリシア、バスク、バレンシア、カタルーニャ)で生産された5本を試飲しながら、各地方の歴史やワインを中心とする食文化、味の特徴などを学べる特別講座です。バルや輸入食品店で注文するときに役立つ知識や美味しい飲み方も紹介。ワイン生活がより楽しみに。今回ご用意したワインのワイナリーは、いずれもこだわりを持ち、スペイン国内で高い評価を得ています。それぞれに合うおつまみも堪能しながら、神戸で美味しい日曜日を愉しみましょう!

※講座は日本語で行います。スペイン語の知識がなくても大丈夫です。

今回のワイン

ガリシア地方	ガリシア地方	バスク地方	バレンシア地方	カタルーニャ地方
Gaba Mencía ガバ・メンシア メンシアを100%使用したガリシア地方の原産地呼称「バルデオラス」の赤ワイン。メンシアは非常に香り高いぶどうで、イベリア半島でのみ栽培されている。	Gaba Godello ガバ・ゴデーリョ ゴデーリョを100%使用したガリシア地方の原産地呼称「バルデオラス」の白ワイン。ゴデーリョは風味豊かな白ぶどうで、スペイン国内で人気上昇している。	LZ エレセッタ バスク地方の特選原産地呼称「リオハ・アラベサ」の近代的な赤ワイン。テンプラニージョ、グラシアーノ、ガルナッチャの3種のぶどうを醸成。	Cullerot クリエロト 異なる種類の白ぶどう(ペドロ・ヒメネス、ベルデイル、シャルドネ、マカベオ、マルヴァジアなど)を醸成し、素焼きのアンフォラで6ヶ月熟成させてできる。約3000年前のフェニキア人たちの手法で作られる。	I TANT イタント カタルーニャ地方の原産地呼称「モンサン」の赤ワイン。ガルナチャ・ティンタを100%使用。このぶどうはスペイン原産で世界的に非常にポピュラーな品種。特にカタルーニャ地方では定番のぶどう。
TELMO RODRÍGUEZ	TELMO RODRÍGUEZ	TELMO RODRÍGUEZ	Celler del Roure	Edetaria

日時

2019年
2/24 SUN
14:00-17:30

お申込み
開催場所

スペイン語教室 ADELANTE 神戸校
TEL:078-230-2022
神戸市中央区磯辺通1-1-18 カサベラ国際プラザビル9F
www.adelante.jp

協賛

選りすぐりの輸入ワインを取り扱う
株式会社オーデックス・ジャパン
〒108-0074 東京都港区高輪4-1-22
TEL:03-3445-6895
www.odexjapan.co.jp

締め切り

2/16 MON 定員になり次第締め切らせていただきます。

料金 **9,720円**

Vida flamenco

日本全国のフラメンコ愛好家人口は5万人以上と云われ、スペインに次ぐ世界第2位のフラメンコ大国。日本はこの文化にとっても簡単に触れることのできる国といえるでしょう。フラメンコの実践・鑑賞をライフワークとしている人にとっては、単純に「海外発祥の文化」である以上の豊かさを人生にもたらしてくれます。全国に数多くの教室があり、毎年、大勢の人が様々なきっかけで、新しい挑戦としてこの世界に飛び込みます。今号特集では、日本フラメンコ協会主催の2018年度「新人公演 / フラメンコ・ルネサンス21」のバイレソロ部門に出場した方3名、第1回全日本フラメンココンクールに出場した方1名、計4名にスポットライトを当て、彼・彼女たち、日本フラメンコの未来を担う若手ダンサーたちの活躍をお伝えいたします。

フラメンコ人生、若手が輝く

Brillo de los novatos



Tomoko Kobayashi

フラメンコは生きてゐる

TEXT = Tomoko Kobayashi



一般社団法人 日本フラメンコ協会 (ANIF) 主催「新人公演」について

TEXT = Jiro Hamada

フラメンコの踊り(バイレ)、歌(カンテ)、ギターを志す人びとの大きな関心事である「新人公演 / フラメンコ・ルネサンス21」は、例年ほぼ8月に開催されている。主催する一般社団法人日本フラメンコ協会(会長:濱田滋郎、理事長:小島章司)は発足が1990年7月、すでに30年近い歴史を持つ団体で、現在ほとんど全国にわたって800名近くの会員を持っている。会員の大部分は舞踊家を中心としてフラメンコを実践する人びとだが、中にはフラメンコを研究する人びとや、単にファンとして愛好するだけの人びとも含まれる。会が掲げる目的は日本におけるフラメンコの振興、発展で、『力を合わせて初めてできることがある。われわれは心の絆を持って集う、1人ひとりが輝くために』をモットーに歩みを進めてきた。

1991年に第1回を催し、一度だけ抜けた年はあったものの毎年の大切な行事として続けてきた「新人公演」は、3日間開催(金曜

日夜、土曜日・日曜日の昼から夜)を通例とし、年によって異なるが、舞踊(バイレ)ソロは70名、群舞数組、歌(カンテ)ソロは15名、ギター・ソロは10名の出演者を数える。日本におけるフラメンコの通例として舞踊は女性が圧倒的に多くなり、歌も女性が優勢、ギターのみはほとんどが男性である。年齢は10代から60代、時には70代と幅広く、「新人」という言葉はいわゆるプロではない、の意味で使われるので、必ずしも若い人だけとは限らない。公演はあくまでもフラメンコを公に皆で“楽しむ”ことを主眼とし、厳しい目で採点を行い優勢をつけるコンクールではないことを謳っているが、出演者の「励み」とするため、例年「奨励賞」を設け、協会理事たちや、外部から招く有識者たちが選定委員を務める。「奨励賞」受賞者をはじめ、歴代の出演者たちの中から、現在日本のフラメンコ界を背負って立つような人材が輩出しており、水準は年々高くなっていることも疑いない。



濱田 滋郎 / Jiro Hamada

音楽評論家、スペイン文化研究者。1935年東京生まれ。翻訳、雑誌寄稿、レコード解説などのほか、東京藝術大学、桐朋学園大学、東京外国語大学、立教大学ほかで講師を務める。NHK-FM放送クラシック音楽・民族音楽の番組にレギュラー出演。1989年には教育テレビ「市民大学」講師として南米folkloreを講ずる。主要著書『フラメンコの歴史』『エル・folkloré』(晶文社)、『スペイン音楽のたのしみ』(音楽之友社)、『濱田滋郎の本』(現代ギター社)、『ギターの名器と名曲』(ナツメ社)。訳書にカーブフラメンコギターの歴史(バセオ社)、コンキエインディオの道(小説)(晶文社)ほか多数。現在、日本フラメンコ協会会長、スペイン音楽こだまの会主宰。1984年第3回草原英了賞受賞。

日本フラメンコ協会が設立されたのは、私が8年にわたったスペイン修業に区切りをつけて日本で活動を始めてほどなくのことでした。企画段階から声をかけていただき、発足と同時に喜んで参加いたしました。新人公演の立ち上げ当初は、出演希望者が少なく直接お話ししたり、電話で皆さんに出演や出演者の紹介をお願いして何とか開催に漕ぎ着ける、といった今の盛況からは考えられない状態でした。あれから30年近くが過ぎ、フラメンコの状況も大きく変わりました。新人公演も3日間にわたり熱演が繰り広げられる充実した会となり、今では皆さんに待ち望まれるフラメンコ界の一大イベントに成長しました。公演には様々なスタンスで真摯にフラメンコに向き合っている方々が一堂に会し、フラメンコの今と伝統が同時に見られる場となっており、毎回見ている私にもとても楽しみな会となっています。

現代は昔よりスペインとの行き来も手軽になって、ネットでスペイン人の公演情報も教室情報もすぐに得られるようになり、また最新から過去の音楽や映像まで簡単に見ることができるようにもなりました。私がスペインに行った40年前には、携えたスペイン語の辞書と同じ位の大きさのテープレコーダーが最新で、録音して学習する方法が始まった頃でしたし、その前の世代の方々は、録音すら無かったのですからまさに隔世の感です！ また世界的なグローバル化の中でスペイン本国でも、フラメンコ音楽、舞踊の技術的変革が著しいように見受けられます。当協会の濱田会長が常々、フラメンコはアンダルシアに定着するまでに世界各地の文化を吸収して形成されてきた、とてもグローバルなジャンルだと仰っています。フラメンコは正に今現在も様々な情報を吸収しながら進化し続ける、生きていく伝統芸能と言えるでしょう。

トラディショナルな物も最先端の物も、様々なスタイルが混在して、それぞれにクオリティーを求められる。そこが新人公演の良いところだと自負しています。フラメンコに励む皆さん、現在の豊かなフラメンコの環境を大いに活用して、なりたい自分に近づいてください。そして盛り多いフラメンコ人生を楽しんでください！

小林 伴子 フラメンコ・スペイン舞踊教室
ラ・ダンサ

〒169-0075 東京都新宿区高田馬場4-8-2
Tel & Fax: 03-3360-6656

www.la-danza.net

2019年 教室公演情報

- 1月14日(月祝) [東京] タブラオ・フラメンコ・ガルロチ Carretilla~音を紡ぐ
- 2月24日(日) [東京] なかのZERO大ホール 第10回アニフェリア2019~フラメンコの祭典
- 3月28日(木) [東京] タブラオ カサ デ エス ペランサ 小林伴子 バセオ・ソロライブ Vol.4

小林 伴子 / Tomoko Kobayashi

多摩美術大学彫刻専攻卒業。1978年スペイン留学、フラメンコを中心にスペイン舞踊全般を学ぶ。1983年スペイン王立舞踊高等芸術学院(コンセルバトリオ・デ・マドリール)の公認スペイン舞踊師範資格を取得。1985年帰国後高田馬場にスペイン舞踊スタジオを開設。舞踊団と共に公演多数。1991年「赤い靴・私抄」にて文化庁芸術祭賞受賞。2000年「カスターニエラ」公演にて河上鈴子スペイン舞踊賞受賞。「スーパーカスターネット」ほかフラメンコDVD出版多数。日本フラメンコ協会副会長。

新人公演出演

Yukari Fujimoto

私は、東京に住む前の5年間熊本に住んでいました。その時、林田先生のフラメンコスタジオにてなかなか経験できないスペイン人との共演や新人公演への参加をいたしました。また、新人公演に参加した頃から東京の稲田先生のところへ通って教えていただいていた。林田先生から舞踊の基礎とポジションの大事さ、稲田先生から踊るために必要な存在感や「内圧と間」のメソッドなどを教えていただきました。

今回踊ったマルティネーテは今まで習った、女性としてのエレガントさと男性ならではの力強さを引き出しに

たいと思いました。奨励賞の受賞に繋がったのは、ここまでの力を与えてくださった先生たちのおかげです。

舞踊も音楽も全て大人から始めましたが、フラメンコをされている方はほとんどがそうだと思います。フラメンコは全ての人に様々な可能性のある1つの文化だと思います。

今はスペイン人の先生にフラメンコを習っています。道のりは容易くないですが、年齢、性別、体型、国籍、何もとらわれずに表現できるフラメンコの良さを伝えていけるよう今後も進んでいこうと思います。

藤本ゆかり 2019年公演情報

- 1月19日(土) [東京] スペインバル サラ・アンドンルーサ
- 4月7日(日) [東京] ライブビストロ ノヴェンバー・イレブンス

藤本ゆかりさんについて

ゆかりさん。この度は、日本フラメンコ協会新人公演奨励賞！ 本当におめでとうございます。ゆかりさんを教えて5年。フラメンコに大切な「内圧と間」を大切に、良くなっていくゆかりさんを見て誇らしく思いました。

ギターなしのマルティネーテ。非常に難しいこの曲の選択に決意を感じました。「内圧と間」のメソッドを最大限に取り入れ、丁寧に自分らしく踊れたと信じています。

結果、満票で奨励賞。本当に嬉しいです。これからも「内圧と間」を大切に自分のフラメンコを突き詰めていってください。

稲田進フラメンコ教室主宰 稲田 進

藤本ゆかりさんは、当スタジオにおいて、2011年より約5年間アシスタントとしてご活躍いただきました。レッスンや仕事で忙しい中、東京や大阪へ足を運び、舞台やクルーシージョにも積極的に参加しながら、自分の踊りのスタイルについて深く研究している様子がとても印象的でした。また明るく前向きで気配りのできる性格から、リーダーとして相応しいと判断し、アシスタントをお願いした経緯があります。その後独立されてからも、絶えずそのチャレンジ精神のもと今回の受賞に繋がったことは素晴らしい、スタジオのメンバーにとっても大きな誇りとなっています。長い時間をかけて作り上げた彼女自身の表現が今後さらに発展して多くの皆さんを魅了し続けることを祈っています。頑張れ、ゆかりさん!

エストゥディオ・アレグリアス主宰 林田 紗綾

稲田進フラメンコ教室/
レンタルスタジオ スタジオセンチード
東京都世田谷区北沢2丁目18-5
UPTOWN下北沢地下1階
[inadasusumuflamenc.wix.com/
inada](http://inadasusumuflamenc.wix.com/inada)

エストゥディオ・アレグリアス
熊本県熊本市中央区京町2丁目6-48
Tel: 096-325-7839
estudio-alegrias.com

新人公演出演

Ayumi Otsuka

ある時フラメンコに対して逃げ腰になっている自分に気付き、そんな自分を変えたくて新人公演に出ました。練習を進める中で、無意識のうちに、また時には意識的に、奨励賞を目指さないはずありませんでしたが、特に直前の1週間は何をやってもうまいかず、楽しくないしワクワクもしない、このまま本番を迎えるのかと弱気になりました。最後はできることしかできないんだ、と開き直って臨みましたが、踊っている間は心から楽しく、歌とギターとパルマの3人が彼らの素晴らしいフラメンコを惜しみなくぶつけてくれたことが嬉しくて、もう別に賞という形に残らなくても宝物をもらえた気持ちで、それだけで今回挑戦した意味があったと思えました。

フラメンコを習い始めた頃より、今の方が、フラメンコが遠い存在に思えます。やればやるほど分かりません。やればやるほどその難しさや深さに心が折れそうになるばかりです。けれど、今までに何度も経験したワクワクする一瞬のために、やっぱりフラメンコが好きだという気持ちが消えないので続けています。そんなワクワクする瞬間というのは、ぼーっとして待っていれば勝手に起きるわけではないですし、自分1人で起こせるものでもないと思っています。ギタリストや歌手や他

の踊り手との経験の差とか、スペイン人と日本人の差とか、「差」をあげたらキリがないし、自分に足りないものをあげ始めたらイヤになって家に帰りたくなってしまうけれど、同じ舞台上に乗っている以上は、どんなに自分がちっぽけであってもしっかり自分の足で立って、そこで起こっていることを感じて、食らいついていく。みんなと同じ方向を見て、みんなでワクワクする瞬間に向けて、探しあって、バトンを渡しあっていく。私は怖くてすぐに逃げたくなってしまふけれど、そういう気持ちと姿勢を持って、これからもフラメンコを探っていきたいと思っています。

フラメンコの歴史的な成り立ちとか、ヒターノの話とか、ちょっと聞いただけでも気が遠くなるほど自分と接点がないし、今思えばなんでもものに手を出してしまったんだろうと思います。フラメンコなんて始めたら大変だよ、と過去の自分に教えられるならば教えたい。でも大変だけどなぜか好きでまだ続けています。

やればやるほど分からなくなるフラメンコは、始めた時よりも難しく怖いものにもなりましたが、だからこそ、勝手な解釈じゃなく、たくさん失敗もしたり恥もかいたりしながら勉強して、笑ったり泣いたりを続けていきたいです。



© Yuki Omori

大塚歩 2019年公演情報

- 2月11日(月) [東京] スペイン料理 アルハムブラ
- 2月24日(日) [東京] ライブピストロ ノヴェンバー・イレブンス
- 3月10日(日) [群馬] スペイン料理 エル・ヴィエント
- 4月12日(金) [東京] タブラオ カサ・アルティスタ

大塚歩さんについて

プロの舞踊家も今や星の数ほどになった今、若手がフラメンコで名声を得るのは困難を極める。そんな中、とても鮮度の良い技と音楽センスを感じさせてくれた舞踊家が大塚歩さんだった。20年にわたり私たちのスタジオに通う生徒さんたちが、早速彼女のレッスンの受講を希望して始まった。時々飛ばすジョークで場を和ませ、笑いをとりながらも指導となれば指摘鋭く熱い。時折ポロっとスペイン語と関西風常套句『知らないけど』が出る。大きな声、ストレートな物言いはレッスン中、止まることなく続く。まるで日本語上手なスペイン人という印象だ。それでいて細かいことを気にする『気にしい』でもある。生徒の癖で気になる所は徹底して何度も何度も反復する。アユミ流の愛の鞭と鉛トークで楽しい時間を展開してくれる。ゆったり生きる静岡人には、テンポの速さに戸惑いも見えるが、ぎゅっぎゅっに詰め込んだ靴の様に中身の濃いレッスンである。

アーボンハウスフラメンコスタジオ主宰 土屋 満章 (Chaqui)

アーボンハウスフラメンコスタジオ
〒424-0818 静岡市清水区江尻町2-16
Tel: 054-363-1414

aabon.net

2019年 教室公演情報

- 1月18日(金) [静岡] サングリア久能本店
- 3月3日(日) [静岡] フラメンコペーニャ
- 3月10日(日) [静岡] 江尻交流館祭り
- 4月7日(日) [静岡] フラメンコフェスティバル

諸藤ふみさんについて

毎年8月に東京で開催されるフラメンコ新人公演に、諸藤ふみさんは今年初めてソロ部門で挑戦され、賞は逃したものの審査員、お客様からも素晴らしい評価を頂くことができました。彼女がずっと大事に踊ってきたフラメンコの母と呼ばれるソレア。多くの人たちに見てもらえて私たちも嬉しく思います。仕事をしながら、日々練習に励み自分とフラメンコに向き合う貴重な時間を過ごせて彼女の今後の活躍の大きなエネルギーになることと思います。日本のフラメンコ界は今やスペインを凌ぐ程の教室数を持ち、コンクール出場者は年々増え、彼女のような魅力のある熱い想いを持った踊り手もどんどん現れています。フラメンコは迫害されたヒターノが自分たちの感情を歌や踊りで表現した、魂を揺さぶられる芸術。私たちもこれからフラメンコを広く知ってもらい、素晴らしい踊り手たちをサポートしていける環境作り日々努力していきたいと思っています。

奥野裕貴子・SIROCOフラメンコ教室 主宰 奥野 裕貴子・SIROCO

奥野裕貴子・SIROCOフラメンコ教室

【京都校】スタジオ ロス・タラントス

www.lostarantos.jp

【大阪校】スタジオ カルメン

www.estudiocarmen.jp

2019年 教室公演情報

●3月3日(日) [京都] FIESTA河原町

●4月14日(日) [大阪] スタジオ カルメン

新人公演出演

Fumi Morofuji

年に一度の熱い夏の新人公演に、今年初めてバイレ・ソロ部門で出場させていただきました。過去に2回群舞でも挑戦しましたが、今回は1人での広い舞台に立つということに公演前は緊張しっぱなしでした。

でも実際はたくさんの人の力を感じて踊ることができました。舞台上で支えてくれたカンテ、ギター、バルマのアーティストの方々や先生たち、仲間や家族の支えがあってここに立てる舞台だと実感しました。

何より観客の方々の温かい拍手や激励にとっても力をもらいました!

公演に関わる全ての人たちのフラメンコへの愛が溢れていて、たくさんの刺激をもらえる舞台でした。

フラメンコを始めた当初は週に1回のお稽古事の気持ちでしたが、フラメンコの奥深さと魅力にどんどのめり込んでいきました。歌とギターと踊りが一体になった生きている舞台はフラメンコの醍醐味だと思います。

私もそんな踊りができるようになりたいと思っています。

一生ゴールに到達できない芸術ですが、フラメンコを育んだ文化と歴史に敬意を持ってこれからも頑張ります!

諸藤ふみ 2019年公演情報

- 1月6日(日) [大阪] タブラオ Mi Vida
- 1月26日(土) [滋賀] チカ守山



誰もが輝くための舞台

TEXTO = Yoko Komatsubara

2018年に引き続きスペイン大使館、インスティトゥ・セルバンテス東京のご後援を得て、2019年も全日本フラメンココンクールを開催できますこと、大変嬉しく存じます。志風さんが私の思いを書いてくださいましたので、私はこの紙面をお借りして多くのフラメンコを志す皆さんにお役に立てるコンクールとなるように努力していきたいと一生懸命です。多くの皆様がそれぞれの思いをフラメンコに託し、舞台上で表現する喜びを感じて踊ることを願っています。

小松原庸子スペイン舞踊団
東京都杉並区高円寺南4-34-13
Tel:03-3314-2568
www.komatubara.com

2019年 教室公演情報
●2月23日(土) [東京] 四谷区民ホール
第51回小松原庸子スペイン舞踊
研究所発表会

小松原 庸子 / Yoko Komatsubara
邦楽の家に生まれる。幼少より日舞を学び、その後、クラシックバレエ、俳優座で演劇を学ぶ。ピラール・ロベスの日本公演に感動。修行後、スペイン舞踊研究所を開所、1969年、小松原庸子スペイン舞踊団を結成、本年、50周年を迎える。多くの舞踊手を育てながら現在もその真髄を伝えるため公演活動を国内外に展開、各国で高い評価を得ている。

Yoko Komatsubara

「全日本フラメンココンクール」

TEXTO = Kyoko Shikaze

「誰でも参加できるコンクールがあるといいな、と思ったんです」と、小松原庸子は語る。日本のフラメンコの歴史を牽引してきたスペイン舞踊家。1960年代にスペインに渡り、歴史的な名教授たちの教えを受け、ラファエル・デ・コルドバの舞踊団などで活躍した小松原は1969年に自らのスペイン舞踊団を結成。その50周年記念公演を開催する2019年、全日本フラメンコ・コンクールを2018年に引き続き開催する。

コンクールというと、新人が世に出るためのジャンピングボードを想像する人が多いだろう。実際、スペインでも日本でも、年齢制限のあるコンクールが多い。

「日本ではフラメンコを始める年齢も遅いことが多いですし、気が付くとコンクール挑戦は不可能だったということもあるのではないのでしょうか。でもコンク

ールは若い人たちだけでなく、誰にでも有意義なものだと思います」

コンクールは結果だけがクローズアップされがちだが、実際はコンクール挑戦という目標に向けて努力することや、プレッシャーの中、観客やスペイン人アーティストや専門家で構成される審査員の前で踊ることのできるものも多い。現在の自分と向き合い、新たな目標も生まれることだろう。なお、優勝者には、スペインの名門タブラオや舞踊団50周年公演でスペイン人アーティストたちと共演のチャンスが与えられるというのも魅力的だ。

「昨年はプロの方も多く参加されレベルの高いものとなりましたが、入賞されなかった方も皆、輝いていらっしゃいました。人前で踊ることがあまりないという人もぜひ、参加していただければ嬉しいです」

第2回 全日本フラメンココンクール

予選:7月13日(土) 本選:7月20日(土)

会場:インスティトゥ・セルバンテス東京

[主催およびお問合せ先]

全日本フラメンココンクール事務局

Tel:03-3314-2568



志風 恭子 / Kyoko Shikaze
1987年よりスペイン在住。セビーリャ大学フラメンコ学修士。フラメンコ・ジャーナリストとしてスペイン情報を発信するとともに通訳コーディネーターとして数多くのフラメンコ公演に携わる。

2018年、全日本フラメンココンクールに挑戦しました。自身の実力を測るとともに、ブラッシュアップも図るためです。これまで踊り続けている振付、格好、スタイルを通して、「私のフラメンコ」として成立できているのかどうか。また大阪を拠点としている私にとって、東京は新たな境地での披露となります。東京でも通用できるのかどうか。そんなことも含めて、今回の挑戦を決意しました。

コンクールは「即興感」のある中で『自分のフラメンコとはどういったものなのか』を表現する場。踊りだけでなくバックも大切に、ギターには尾藤大介氏、カンテには小松美保さんをお願いしました。曲目はアレグリアス。

大学生の頃から何年も踊り続けてきた「アレグリアスなら自分らしさも出る!」と考え、予選会場へ向かいました。踊ったときのことは正直覚えていませんが、これまで踊ってきたアレグリアスの中でも良かったのかなと感じていました。結果発表の時、予選通過者を見ると私の名前がありました。

本選は1週間後。ですが、本選の翌日は私がアシスタントをしている石川敬子フラメン

コ教室‘Fin de curso’が大阪で行われる日でした。かなりのタイトなスケジュールでしたが、チャレンジをしようと考えました。本選では、ギターは同じく尾藤大介氏。カンテは大阪でいつも伴唱してくれている小山奈美さんをお願い、曲目はソレア。ソレアもこれまでに何度か踊ってきていましたが、正直予選のアレグリアスのときより自信はありませんでした。フラメンコベースの曲でもある中で、どのように「男らしさ」、「フラメンコらしさ」、そして、「自分らしさ」を出せるか。

あっという間に演目も終了し結果発表。私にとってこれまでに一番緊張した発表の場でした。『努力賞 出水宏輝』と呼んでいただき舞台へあがりました。「優勝はできなかったものの『努力賞』を獲得できたことは1つの成長」として自分自身を褒めたいと思いました。

1つ上にステップアップした分、複数の課題が見えてくるフラメンコ。自分の成長すべき点が多く見えるフラメンココンクール。それに挑戦しただけでもたくさんの刺激と成長をいただきました。



出水宏輝 Farolito 2019年公演情報

- 1月26日(土) [大阪] イタリアンバル クラシコ
- 2月2日(土) [大阪] イタリアンバル クラシコ
- 2月9日(土) [神戸] スペイン料理 カルメン
- 3月24日(日) [大阪] 東成区民センター大ホール

Kohki Demizu Farolito

全日本フラメンココンクール出場



大学生の頃、官民協働留学支援制度「トビタテ!留学JAPAN」～日本代表プログラム～多様性人材コース第一期生で、スペインへ語学とフラメンコ留学を行いました

出水宏輝さんについて

出水宏輝は、一般の方々にフラメンコを広めるという使命感を持っています。このことが、全日本フラメンココンクールの出場にも繋がりました。彼は何をやっても続かない息子に何か合うものを探していたという母親の薦めで、小学5年生の時に当教室のギター科に入門しました。ギターの上達も目覚ましく、2年程経った教室の忘年会で踊りも披露して皆をびっくりさせました。本人に踊りをやりたいかを尋ねると、やりたいとの返事で、そこからは舞踏を榎原美和に仕込まれ、怒涛の勢いで成長し、中学2年14才でグルーポペバの全国ツアーライブでプロデビューを果たしました。

デビュー後はグルーポペバの公演・ライブ等に出演し、大学時には難関の留学支援制度「トビ

タテ!留学JAPAN」に見事合格し、1年間のスペイン留学も果たしました。22才の時にはソロサイタルを大阪・寝屋川のアルカスホールで開催し大成功を収めています。その後も各地のイベントやライブに出演、2018年には摂南大学入学宣誓式(大阪城ホール)にて、在学生300名以上とフラメンコのフラッシュモブを実施しました。その他、石川敬子フラメンコ教室の代教アシスタントとして活動しています。

身内鼻唄ではなく、フラメンコ歴55年の私は色々なフラメンコを多数見てきましたが、出水宏輝のような子は初めてで、間違いなく天才で正に日本のフラメンコ界の至宝といえるでしょう。これからの成長が楽しみです。

石川敬子フラメンコ教室 主宰 田中 光夫(Alegre)

石川敬子フラメンコ教室
大阪府四條畷市岡山232-6
忍ヶ丘教室 スタジオペバ(本部)
Tel: 072-877-6664
www.flamencopepa.jp

2019年 教室公演情報
●3月24日(日) [大阪] 東成区民センター大ホール
アートフェスタ東成2019

Información フラメンコの基礎知識

【フラメンコの起源は?】

15世紀頃、アンダルシア地方に定住したヒターノ(ジプシー)たちが、土着の歌や踊りを取り入れてフラメンコの基礎を培いました。当時は貧しい生活を送る人びとが、厳しい暮らしをお互いに励まし、慰め、乗り越えるために、家族の者同士、仲間内で歌っていた内輪の音楽文化でした。やがて19世紀にカフェ・カンタンテと呼ばれる、フラメンコを出し物として披露するための大

衆酒場がスペインの各都市に建てられ、国中で大ブームとなります。この時代から観客向けのエンターテインメントとして発展し、踊り、カンテ、ギターそれぞれの部門で演者が腕を競い合い、プロやアーティストと呼ばれる人が登場し始めます。フラメンコの中核であるカンテは、ここである程度の形式化が進みました。20世紀前半には、演者たちの活躍の場はラジオ、レコード、映画まで進出し、スペイン国外で公演をする一流のアーティストたちが登場します。その内の1人、ラ・アルヘンティー

ナは1929年に来日してスペイン舞踊を初めて日本に紹介しました。フラメンコは世界中で知られるスペインの芸能となり、日本を始め数多くの国で愛好家を増やしていくようになりました。

このように、フラメンコは時代ごとにスタイルを変えて発展しています。昔から歌い踊り継がれている伝統的・古典的な舞台を大切にしている人たちがいる一方で、現代では他の舞踊音楽とのミックスや、モダン・フラメンコなどの発展型も注目を集めています。

【フラメンコの語源は?】

諸説あります。アラビア語で「逃亡の農民」を意味する Felag Mengu から来たとする説や、「フランドル地方(オランダの)」を意味する flamenco が転義したとする説、鳥のフラミンゴ(flamenco)と同じく、炎を意味する flamen から名付けられたとする説などがあります。

【歴代の有名なアーティストは?】

日本にフラメンコが伝わった20世紀以降から抜粋しましょう。初期にカンテで名を馳せた人物にはアントニオ・マイレーナ、ニーニャ・デ・ロス・ベイネスなど。その後70年代に登場したカンタオールのカマロン・デ・ラ・イスラと、彼のギター伴奏をしていたパコ・デル・シリアは、現代フラメンコに絶大な影響を与えた伝説的人物です。パコはフラメンコ分野に留まらずギター界の巨匠として世界的に知られています。彼らと同世代のカルメン・リナーレスは現在も活躍し、フラメンコ歌手の女王とも評される人物です。この世界のプロの人たちの中にはヒターノにルーツを持つ人たちも多く、例えば非常に有名な舞

踊家カルメン・アマジャは、バルセロナのヒターノ系の生まれで一族がフラメンコ界で活躍していました。対照的に、ホセ・グレコは外国出身ですが舞踊家として大成しアメリカにフラメンコ文化を広めました。『acueducto』第8号で特集したカルメラ・グレコは彼の娘です。現代でも数多くの優れたアーティストが世界中で活躍しています。『acueducto』第21号で特集したベレン・マジャも第一線で活躍している1人。彼女は現代舞踊を取り入れて独自のフラメンコ形式を創出したモダン・フラメンコの代表的人物。同じく革新的フラメンコの担い手にはイスラエル・ガルバンもいます。ここでは紹介しきれないので、様々な公演や作品そのものを実際に見てみるのが、彼らの魅力を発見する1番の近道ですね。

【主な曲の種類は?】

Alegrías / アレグリアス

喜びの歌。明るさに満ちたフラメンコの代表曲。

Bulería / ブレリア

生き生きとした調子で、12拍子の速く激しいリズム感を持つ。

Caña / カーニャ

ロンダ山岳で生まれた曲。マントンを用いて優雅に踊る。

Fandango / ファンダンゴ

スペインの土着の民謡から発展した歌。

Garrotín / ガロティン

北スペイン発祥。コルドベスという帽子を被って踊る。

Martinete / マルティネーテ

鍛冶職人たちの歌。踊りに杖を用いることもある。

Soleá / ソレア

孤独の歌。ゆっくりとしたリズムで、物悲しさや憂いを表現する。

Siguiriyá / シギーリージャ

重厚なメロディー。悲壮に満ちた叫びの歌。

Sevillanas / セビジャーナス

セビーリャのお祭りの歌。入門曲として知られる。

Tangos / タンゴス

4拍子の陽気な曲種。南米のタンゴとは異なる。

Taranto / タラント

鉱山の歌タランタから発展した2拍子の曲。悲しさや苦悩を歌う。



©Yuki Omori

Gran Crónica del Cante vol.1 - 23
カンテの大年代記

発売元(株)バセオ・フラメンコ(有)アコースティカ
 お問い合わせ先 03-3959-4471 (スタジオ・カスコーロ)

イスラエル・ガルバン+YCAM 新作ダンス公演
「Israel&イスラエル」

2019年2月2日(土)19時 開演
 2月3日(日)15時 開演
 山口情報芸術センター[YCAM] スタジオA

料金：前売一般 3,000 円 他
 当日一律 4,000 円

チケット申込方法
 Tel: 083-920-6111
 web: www.ycfc.or.jp
 セブンチケット: 068-522

お問合せ: 山口情報芸術センター[YCAM]
 山口県山口市中国町7-7 (web: www.ycam.jp)
 Tel: 083-901-2222 E-mail: information@ycam.jp

撮影: 新津保建秀

**フラメンコ
 おケイコ留学**

1週間~

スペインのエッセンスが詰まった セビリア、カディス、マラガで語学留学

- 語学教育と講師養成コース等で世界的に定評のある**International House**メンバー校
- 1週間の短期から長期までご希望のコース期間が選択可能
- **DELE**試験開催校(年3回)として安心と信頼の**DELE**対策コース
- 現地日本人スタッフによる安心のサポート



MODA

vol. 3

ESPAÑOLA

バルセロナのモードを知る

スローファッション

Slow Fashion という新たな選択

TEXT0 = Rei Inoue

「あなたが今日着ている服は誰が作ったものですか」

そう問われて即答できる方はほとんどいないと思います。

世界の主要都市を旅すると、必ず見かけるファストファッションの数々。

安価に流行を取り入れられるので便利ですよね。しかし、大量生産の服は何か味気なく、その国らしいファッションに触れる機会を逸してしまうことにもなりがち。今、バルセロナで静かに、しかし確実に浸透している、スローファッションという動き。ファストファッションと逆を行くスローファッションは、エコでありながらデザイナーの個性が光るオリジナリティーがあります。「作り手の顔が見える、丁寧な服作り」は、これからの未来へ繋がるファッションです。



エコに敏感な Gràcia 地区

グラシア



バルセロナ中心部の北に位置するグラシア地区は古くから新しい文化やアートを受け入れてきました。メトロ Fontana 駅から歩いてみれば、オーガニックスーパーやカフェの多さに驚かされることでしょう。エコに対する意識が高いこの地区には、スローファッションという言葉もしっかり根付いています。小さなショップの中でミシンを踏んでいたり、デザイナー自ら服を売っていたりすることもしばしば。彼らの多くは信頼できる生地屋さんから環境に優しい素材を選んでいきます。



バルセロナにおいて「スローファッション」という言葉が普通に使われ、支持されている事実。毎日着るものだからこそ、量より質にこだわりたいですね。もちろん、そこにデザイン性があるからこそ！ 私がスローファッションと深く触れるきっかけとなった、グラシア地区で活躍する3ブランドをご紹介します。



ボタンも選び方1つで服の印象が大きく変わりますね。ペンシル型のボタンを交互に付けて。こんな楽しいアイデアは手持ちの服もボタンを付け替えてみるなど応用できそう

2018秋冬コレクション。ペンシルモチーフはイラストレーターとのコラボで生まれました。白ニットは胸元の刺繍とサイドに深く入ったスリットがポイントです



感性の高い人たちに人気のスローファッション専門セレクトショップ、Coshop。パルセロナ訪問の際は私も必ず立寄りします。Andreaの服はこちらのショップでも扱われています



Andrea Martínez
C/Astúries, 4, 08012
Barcelona (Coshop内)

a-martinez.com

Andrea Martínez (アンドレア マルティネス)

レトロとモダンが織りなす可愛らしさ

FOTOS ©Andrea Martínez

デザイナー Andreaさんの世界観と色使いが光るブランド。以前から大好きだった服作りを本格的に仕事としてから15年。グラシア地区の工房にてオールハンドメイドで作られています。Andrea Martínezの服は、清楚でロマンティック、どこかレトロな雰囲気もあります。可愛いプリントやドット、チェックを使ったワンピースやスカートは小さい頃に着たことがあるような懐かしさを感じます。それでも彼女の手に掛かると、モダンで大人っぽくなるのが不思議です。使うのはほとんどが織物や生地に伝統のあるカタルーニャで作られた布地。自分の目の届く範囲できちんとしたものを作りたい、という思いから、全ての工程を1人でこなしています。ボタンなどの細かいディテールも心をくすぐられるデザインがいっぱいです。



なめらかな肌触りで上質さがわかるコットン。ビンテージ風で発色の美しいプリントワンピースは背筋を伸ばして歩きたくなる心地よさ



Malahierba (マライエルバ)

最強のコンビによる、最高の着心地

FOTOS ©Malahierba

友人であった Marijo さんと Jesús さんがタッグを組んだ、男女2人のデザイナーブランド。ファストファッションブランドで働いていた経験もある Marijo さん。自分らしい服を作りたいと、2008年に Malahierba を立ち上げました。ベースとなるのはシックなカラーや無地。その中に、パッと目を奪われる大胆なプリントは、イラストレーターでもある Jesús さんによるオリジナルのものも多数。絶妙なパターンの美しさがカッコよく、とにかくしっくりとボディーに馴染むので、アクティブに働く女性にもぴったりです。生地選びはもちろんバルセロナにて。彼らのショップ奥には生地や型紙、アイデアボードが所狭しと並び、常に2人で相談しながら大切に服を作っています。ショップにデザイナー自身がいることも多いので、直接服への思いやアドバイスを聞くこともできます。





リーフ柄のプリントは Jesús さんが自らイラストを描き、生地から作ったオリジナル。数量限定モデルです。生地のサプライヤーなど、製作過程で携わる全ての人たちは家族のような信頼関係だそう

2人のアイデアボード。新作のデザイン画と共に生地サンプルやディテール案が貼られています。ここから彼らの世界観が出来上がっていきます。見ているだけで想像が膨らんでいきますね



ショップには服と合わせられるアクセサリや靴も並びます。プレゼントに買っていく方も多いようです。店内の照明やちょっとしたデコレーションもお洒落



壁に飾られているのは今まで作ったオリジナルプリントの原版。ミニギャラリーを見ているような感覚になり、ショップのインテリアとしてもインパクトあり！



Malahierba
C/Bonavista 26, bajos. 08012
Barcelona
www.malahierba.es

Miu Sutin (ミウ スティン)

エコロジーをとことん追求する服作り

FOTOS ©Miu Sutin

生地にとどまらず縫う糸までもエコロジーにこだわるデザイナーの Noelia さん。Miu Sutin とはインカ人の言語、ケチュア語で「真実を売る」という意味。彼女が使うのは、天然素材で柔らかなモダールや、フェアトレードで仕入れたカンボジアのオーガニックシルクなど。地球汚染や、生地を作る人々の労働環境に配慮したもの以外は使用しません。シルクも生の色からオーガニックの紅茶やインディゴなど自然の色で自ら染め上げます。試作を繰り返していく様子はまさに職人です。こだわった素材はしなやかさと軽さがあり、着た瞬間に肌で質の良さを感じ取ることができます。飽きのこないシンプルなデザインは長い年月着られるものを意識しているから。数名のデザイナーとの共同アトリエ兼ショップにて、グラシア地区からスローファッションを発信しています。



驚くほどしなやかで着やすいのに、エレガントなシルエットが出ます。あらゆる場面で使えるのが Miu Sutin の特徴。まもなく発表の来季新作にも期待が高まります

服に込められたストーリー

各デザイナーと話して改めて感じたことは、未来を見据えた服作りを心から楽しんでいる姿勢。キラキラした目が印象的でした。こだわりの素材を見つけ、作り続けることは簡単ではありません。それでも「世界のファッション事情が、よりエコに楽しくなるよう、挑戦していきたい」と語ります。彼らのように小さな工房から発信しているところもあれば、大手ブランドもスローファッションの概念を取り入れつつあり、今後もこの動きは大きくなっていくはず。スローファッションは作り手、売り手、消費者、自然環境、全てに優しいファッションです。モノがあふれ、環境汚染が叫ばれて久しいですが、今こそ使い捨てるから愛着を持って服を選択していく時代へシフトしていくべき時と感じます。肌に気持ちいいことが、地球にも気持ちいいことだったら、その好循環がまた自分自身にも返ってきます。

「どんな思いからこの服が作られたのか」ストーリーが見える服は、手にした私たちも自然と丁寧に扱うようになり、長く大切に着られることに繋がっていきます。バルセロナのスローファッションはエコとお洒落なデザイン両方を叶えてくれます。ここにしかない服。今しか出会えない服。だから、バルセロナのモードは楽しい！ 次の買付で会う時にはどんな驚きのアイデアを見せてくれるのか、毎回楽しみです。

信頼できる人から人へ。みなさんも、自分の今日の服のことを少し考えてみませんか。



アトリエのフロントスペースにあるショップ。同じアトリエで仕事をしている他ブランドのお品も並びます。タイミングが合えばデザイナー本人から話が聞けますよ

ミシンの音が心地よく響くアトリエの風景。生地はアイや玉ねぎ、紅茶などを使った草木染めで、納得のいく色が出るまで試作を重ねます



Miu Sutin
C/Providencia,10, 08024
Barcelona (工房及びショップ)
www.miusutin.com



南青山Due e Due
東京都港区南青山5-5-20-B1F
Tel:03-5467-2002
w-r-dueeue.co.jp

南青山Due e Dueで 1/9(水)~1/13(日)
開催するポップアップで ▶ 2/13(水)~2/17(日)
ご覧いただけます。 3/13(水)~3/17(日)

Due e Dueの
オンラインサイト
「Ebro」
作り手の顔が見える
スペインファッションをご紹介します。
ebro-dd.com



井上 礼 / Rei Inoue

セレクトショップ、南青山Due e Due (ドウエドウエ)ファッションアドバイザー、及びバイヤー。祖父母の代よりヨーロッパの服地を輸入販売しており、そんな環境の中1994年、東京、表参道のDue e Dueにてファッションの道へ。大学卒業前に初めて訪れたスペインに魅了され、現在はスペインファッションを多く取扱う。バルセロナで直接買付けを行い、ショップでは日本人に合ったコーディネート提案している。

昼食には、ほとんどの住人が食堂に集まる。ワイン付きでデザートまであるフルコース料理を談笑しながら食べる



「スペインの 老後の暮らし」

TEXT0/FOTOS = Yuji Shinoda

vol. **1**

Residencial Santa Clara

高齢者集合住宅サンタ・クララ



左)まるで、リゾートホテルのような外観。広い敷地には散策用の小道が作られている

右)それぞれの部屋には18㎡のテラスがついている

Residencial Santa Clara
Carretera Colmenar Km. 557
29013 Málaga
Tel: +34 952 65 22 50
Fax: +34 952 65 30 48
residencialsantaclara.es



地中海に面した街マラガの中心から車で10分ほど内陸に入ったところに、リゾートホテルのような住宅が建っている。周辺には森が広がり、ペランダからは、遠くに真っ青な地中海が見える。

40年ほど前、マラガの下町の住人仲間たちが集まって、老後のための終の住居をつくる計画をたてた。当初からのメンバーで、ここで妹と暮らすマリパスさん(75)は、最初は20人に満たない子どもの頃からの友だちが集まって、歳をとってから一緒に暮らしたいねと話していただけだった、という。多くは女性だった。その後、1991年に協同組合をつくってお金を集めた。知り合いの不動産屋に頼んで、土地を探し、友人の建築家に設計を頼んで、2000年、自分たちが本当に住みたいと思える家をつくりあげた。それが「サンタ・クララ」だ。

南向きと西向きに階段状に並ぶ部屋は、全部で76室。部屋の広さは50㎡の1LDKで、18㎡のテラスがついている。広めの2LDKの部屋も6室ある。

大食堂はもちろん、会議室、図書室、リハビリの部屋、美容室、パーティ用の部屋、屋外にはプールもあり、フラメンコやカラオケ教室で楽しむ老人たちもいる。広い敷地内はたくさんの樹木が植えられ、散歩には絶好の小道が続いている。

生活費は、昼食、清掃、洗濯、水道代込みで、2人世帯で月約20~22万円、1人世帯で約16万円。スペインでは、昼食がメインでかなりボリュームがある。環境や利便性などを考慮すれば、リーズナブルな料金だ。50歳以上であれば、外国人でも住むことができる。

組合が運営する高齢者住宅は、スペインでも珍しい。サンタ・クララは、その先駆的存在だ。日本と同様に高齢化が進むスペインでは、組合方式の高齢者住宅が増えつつある。今回から3回にわたって、特色ある組合方式の高齢者住宅を紹介する。



ペドロさん(78)は、施設の運営委員7名のうちの1人。マドリード出身だが、暖かいマラガの気候が気に入り夫婦でここに入居した



ペドロさんのベランダからは地中海が見える。船乗りとして過ごした若い日々を思い出すこともあるのだろうか



左)リハビリは、毎日朝8時から午後2時まで。ホセ・アントニオ先生が指導している

右)美容室は、毎週水、木、金曜に美容師が来て開く。カットは7€

フラメンコ・カスタネット教室は、毎週木曜日に無料で開かれる



篠田 有史 / Yuji Shinoda

1954年岐阜県生まれ。フォトジャーナリスト。24歳の時の1年間世界一周の旅で、アンダルシアの小さな町Lojaと出会い、以後、ほぼ毎年通う。その他、スペイン語圏を中心に、庶民の生活を撮り続けている。【写真展】富士フォトサロンにて『スペインの小さな町で』、『遠い微笑・ニカラガア』など。【本】『ドン・キホーテの世界をゆく』(論創社)『コロンブスの夢』(新潮社)、『雇用なしで生きる』(岩波書店)などの写真を担当。

日本の素材でスペイン料理
**オリーブオイル
 1本あれば！**

Fabes con almejas
 白いんげんとあさりの煮込み

大好きなのに、日本で再現するのをためらってしまうスペイン料理。その筆頭にあげたいのが、Fabes con almejas(白いんげんとあさりの煮込み)です。

ファベスとは大粒の白いんげん豆で、スペイン北部アストゥリアス地方の特産品。この豆を使った料理で一番有名なのは、あらゆる部位の豚肉と一緒に煮込んだ、ファバーダというかなりこってりした煮込み料理なのですが、同じ豆をあさりと煮込むとまろやかで優しい味になります。私は海辺の街ヒホンの旧市街のレストランで食べて以来、この料理の大ファンで、これは絶対に日本人向けの料理ではないかとかねがね思っているのですが、残念なことに、この豆が日本にはないのです。

見た目は似ている北海道産や長野県産の白花豆という大粒の豆を煮ると、どんなにゆっくり煮て豆そのものは柔らかくなくても、皮がそこまで柔らかく煮えません。口の中に皮が残るとスペイン人の感覚としては落第なので、これは東京の我が家では長年、「作れない料理」ということになっていました。

でも、それも悔しいですね。そこで、この料理に関しては割り切ることにしました。これは日本人向けに作ろう！ スペイン人には、「皮が少し口に残るけど許してね」と先に謝ってしまえばいいと。

もちろん、できる限り豆を柔らかく煮るという基本ルールは変わりません。圧力鍋を使ってもいいですね。そして最後に、あさを加える。北の海辺らしい素朴で温かな味わい、きっと気に入っていただけると思います。

そして、もしも日本の豆を皮まで柔らかく煮るコツを発見したら、私に教えてください！



レシピ

Fabes con almejas 白いんげんとあさりの煮込み

○材料

白いんげん豆 500 g	あさり用
香味野菜	あさり 1kg
玉ねぎ 1個	オリーブオイル 適量
にんにく 3片	にんにく 1片
ピーマン 半個	たかのつめ 1本
オリーブオイル 適量	白ワイン 1/2カップ
パプリカパウダー 大さじ1	
塩 適量	
水	



○作り方

- 1 豆は、12時間以上たっぷりの水で戻しておく。
- 2 豆と水を鍋にいれて強火で熱する。一度煮立ったら、水を捨てる。
- 3 再び鍋に豆を戻し、たっぷりの水を入れ、オリーブオイルも加えて煮始める。煮立ったら、香味野菜を加えてさらに煮る。
- 4 30分ほど煮たら、火を弱くしてパプリカパウダーも加える。軽く塩をする。ここから2時間ほど弱火で、ときどき軽く混ぜながら煮込む。2度ほど差し水をする。
- 5 最後に野菜を取り出して、ピューレにして戻す。



- 6 フライパンにオリーブオイルと刻んだにんにく、たかのつめを熱し、あさりを加え、白ワインで開かせる。
- 7 開いたら、あさりを豆に加える。あさりの汁も、漉してから加える。
- 8 軽く煮て、塩味をととのえたら、できあがり。



渡辺 万里
Mari Watanabe

大学時代にスペインと出会い、その後スペインで食文化の研究に取り組む。1989年、東京に『スペイン料理文化アカデミー』を開設しスペイン料理、スペインワインなどを指導すると同時に、テレビ出演、講演、雑誌への執筆などを通して、スペイン食文化を日本に紹介してきた。「エル・プジ」のフェランを筆頭に、スペインのトップクラスのシェフたちとのつきあいも長い。著書は『エル・プジ究極のレシピ集』（日本文芸社）、『修道院のうづら料理』（現代書館）、『スペインの籠から改訂版』（現代書館）など。
academia-spain.com

エスパニョレ・インターナショナルハウス・バレンシア とても住みやすい街バレンシア



españolé

ih International House Valencia



españolé IH Valencia

DIRECTORA Cristina Navarro
校長 クリスティーナ・ナバロ

エスパニョレ・インターナショナルハウス・バレンシアは2006年に小さな家族のプロジェクトとして誕生しました。この12年の間、常に成長し、全ての面において改善し、バレンシアの私たちのところへスペイン語を学びに来た生徒たちが何をしたいのか、何に興味があるのかを学び続けています。世界中から年齢の異なる生徒たちが集まる学校の雰囲気はとても国際的で、文化交流はとても興味深いものがあります。学校は生徒たちがスペインの生活や文化に馴染み、まるで家にいるかのような感覚になれるほどリラックスできる空間を作り出すことができている。

私たちの学校はバレンシアの中心地にある歴史的建造物の中にあります。この歴史的建造物はゴシック様式の宮殿で、11世紀にバレンシアの街を囲んでいたイスラム時代の城壁と、その入口に7つ存在していた26mの塔を含むように建てられています。

学校には教室が28部屋と、授業の後に生徒たちが楽しめるエリアが多くあります。2つの中庭、大きなガーデンテラス、カフェテリア、読書エリア、キッチンやバーベキュー施設などです。

エスパニョレの生徒たちはスペイン語を勉強するだけでなく、学校外でも言語を習得し、街の歴史に囲まれながら本物のスペイン生活を体験しています。校舎があるカルメン地区は授業後に探索し楽しむことができる路地、歴史的建造物、お店、小さなレストラン・バルが多く集まっています。

宿泊施設は選択肢がいくつかあります。スペインのホストファミリー、学校の他の生徒たちと一緒に暮らす共同アパート、プライベートアパート、寮などです。

エスパニョレに来た日本人の生徒たちが初日からスペインでの留学生活に完全に馴染んで、何の問題もなくバレンシアで生活できるように、エスパニョレの日本人スタッフのさやかが生徒たちを迎え入れ、滞在中に必要なことがあれば何でもサポートします。

バレンシアはとても住みやすい街です。少しずつですが全てのもの(歴史、近代性、伝統、公園、大らかで居心地を良くする人々など)が集まっています。世界中の留学生にとってスペイン語を学ぶ理想の場所と言えるでしょう。

TEXT0/FOTOS = Cristina Navarro
TRADUCCIÓN = Sayaka Katsuki



españolé IH Valencia
日本人スタッフ 勝木 さやか

❶ 困ったことがあればフレンドリーなスタッフが相談に乗ってくれます ❷ ガーデンテラスにはアクティビティ用のバーベキュー施設があり、バレンシア名物のパエリアやフィテウア(パスタのパエリア)などの料理教室もあります ❸ 11世紀、イスラム時代に建てられた城壁の入口の前でひと休憩。7つあったと云われている扉の1つ ❹ イスラム時代には実際に公道であった廊下



M.S さん (40代女性)

留学先：エスパニョレ・インターナショナルハウス・バレンシア

留学期間：2週間 (2018年9月)

留学体験レポート

留学するまで (留学を決めたきっかけ、学校探し、留学の準備など)

以前にスペイン留学.jpの代行サービスでバルセロナの学校で1週間勉強しました。楽しかったのですが、今度は機会があればせめて2週間行きたいとその時から考えていました。

どの学校にするかはかなり迷い、スペイン留

学.jpに相談しました。バレンシアのエスパニョレ・インターナショナルハウス・バレンシアがとても良いとネイティブの先生と視察された日本人スタッフの方にも勧められたのでそこに決め、手続きはお任せしました。

宿泊先について

宿泊はホームステイを選びました。ステイ先は女性1人のお家で、時々息子さんが来ていました。もう1人同じ学校の留学生が滞在していました。料理の好きな女性で、彼女の家庭料理が楽しめました。夕食のときは学校であったこと、その日観光した場所の話をしました。バレンシアの街のことも聞いて、現地の人しか知らないような情報も教えてもらい観光の参考にしました。

留学先での生活について

私の場合は2週間だったので特に旅行と大きく変わらなかったですが、長期で留学するならモチベーションをどう維持していくか、息抜きの仕方考えることも必要なと思います。せっかく違う国に行くのだから、勉強以外にもいろいろな経験ができるチャンスなので、何事にも好奇心を持って楽しもうという気持ちが大切だと思います。

たいていの物はスペインでも買えるので荷物は少ない方がいいと思いますが、薬や化粧品は日本のものがあると安心です。夏なら水着は必須です！スペインでも買えますが、サイズやデザインが合わないのが心配なら持っていくと安心です。

語学学校について (授業、アクティビティなど)

授業はとにかく話すことが中心で、テキストのテーマについてペアや3人のグループで話したり、クラス全体で話したりしました。その中で、わからない単語や語句、文法事項を先生が説明してくれます。先生も自分の体験や意見を話してくれるので、話がどんどん発展して、気づくと違うテーマになっていることもしばしばありました。「そんなに暴露していいの?」と思うくらい先生が自分のことを話してくれるので、授業はとても話しやすい雰囲気です。みんなそれぞれに発言していました。

今回の留学で思ったことは授業中、自分の意見を言うのが難しかったということです。日本にいると自分の意見を言葉できちり表現して伝える機会は意外と少ないと思います。自分がどう考えているかを言葉で表現する練習が必要だなと感じました。それからみんなの話に割り入るのも難しかったです。聞いているだけだといつまでたっても話に入れませんでした。自分はこう思う、自分もそう思うけれどここは違うなど、話の切り出し方もいろいろ考えました。日本語でも難しいテーマもあってかなり疲れることもありましたが、みんなの意見を聞いたり、話したりするのは

楽しかったです。日本について聞かれることも多かったのですが、自国についてもっと知っておく必要があるなとも思いました。

週30時間のコースを取りましたが、正直かなりハードでした。朝8時から午後2時半まで4つのクラスを受け、終わる頃にはヘトヘトになっている日もありました(笑)夢に授業が出てきたことも。スペイン語の夢を見たのは初めてでした。

2週間の留学でスペイン語を聞くことや積極的に話すこと、自分の思ったことはとりあえず言うことに少し慣れたと思います。

アクティビティは月曜日から土曜日まで、ほぼ毎日ありました。市内観光や映画、料理やダンスなどいろいろでした。自分の興味と時間が合えば参加してみると楽しいと思います。

ちょうど留学時期が新校舎に移転するときだったので、最初の週は旧校舎で、翌週は街の中心の新校舎で勉強しました。新校舎はとてもおしゃれでまるで美術館のようでした。校舎の中に歴史的な壁が残っていて、探検するのも楽しかったです。2週間の留学中に両方の校舎で授業を受けることができたのはラッキーでした。



おすすめの留学時期

1年を通してどの時期に留学しても温暖な気候のバレンシア。特におすすめの留学時期は6-8月の夏、トマト祭りの時期(8月後半)、3月中旬のバレンシアの火祭り開催時期です。

これから留学される方へ

行きたい気持ちと行けるチャンスがあるなら、ぜひ留学してください。インターネットや本で情報を見ているのと、実際に体験するのは全然違います。外国に行くと、環境も出会う人も、できる経験も日本とは変わってきます。国や生まれ育った環境や文化が違っていても共通するところもあって、同じ人間だなと思ったり。不安や困ったことがあれば、スペイン留学.jpのスタッフや周りの人が助けてくれます！『百聞は一見にしかず』。応援しています。



スペイン・中南米への留学は

スペイン留学.jp

ご希望に合った学校選びや、プランの作成など幅広くお手伝いしております。漠然とイメージされている留学プランや目的・期間・ご予算など、まずはお気軽にご相談ください。

携帯・スマホからはこちらへQRコードを読み込んでください。



資料請求/お問い合わせ

5都市にご相談窓口

www.spainryugaku.jp
info@spainryugaku.jp

大阪 ☎ 06-6346-5554
東京 ☎ 03-6869-6435

神戸 ☎ 078-230-2022
福岡 ☎ 092-517-9535

名古屋 ☎ 052-766-6406
受付時間 月~土 8:30~21:30

有限会社 ADELANTE



Latinoamérica

中南米にある12ヵ国23都市の語学学校と提携しています。

① メキシコ México

首都はメキシコシティ、北アメリカ南部に位置する連邦共和制国家。北にアメリカ合衆国、南東にグアテマラ、ベリーズと国境を接し、西は太平洋、東はメキシコ湾とカリブ海に面しています。スペイン語圏において最も人口の多い国で、マヤやアステカの遺跡など歴史的な見所がたくさんあります。

③ グアテマラ Guatemala

グアテマラは古代マヤ文明発祥の地であり、紀元前2000年には、すでに人々は生活を営み、アメリカ大陸で最も発達した文明のひとつとなりました。この国の特徴は人口の大半が先住民とメスティソ(混血)の子孫だということ。中南米諸国の中でも先住民人口の比率が特に高い国です。

⑤ コスタリカ Costa Rica

コスタリカは南西部で太平洋、北東部でカリブ海に面しており、北方でニカラグア、東方でパナマとそれぞれ国境を接しています。人口450万ほどの小さな国でありながら、中米で1人当たりの国民総生産が最も高い国。また国土の1/4を自然保護区に指定しており、環境保護に力を入れています。

⑥ コロンビア Colombia

コロンビア共和国、通称コロンビア、首都はボゴダ。南アメリカ北西部に位置する共和制国家です。ブラジル、メキシコに続き、コロンビアは中南米で第3位に人口が多い国です。主要産業はコーヒー、バナナ、さとうきび、じゃがいも、米、熱帯果実、石油、石炭、エメラルドなど。

⑦ エクアドル Ecuador

エクアドルとはスペイン語で赤道を意味し、その名の通り赤道直下に位置します。国民の大半がメスティソ(混血)または原住民の子孫。小さな国ながら、積雪した火山、アマゾンの熱帯雨林など地形は非常に豊か。ホエール・ウォッチング、カヤックなど多岐に渡るアクティビティが体験できます。



⑧ ペルー Perú

南アメリカ大陸の太平洋沿岸中部に位置するペルー共和国。かつてはインカ帝国繁栄の地であり、植民地時代にも南アメリカの政治や経済、文化の中心として栄えた歴史を持ちます。ペルーには世界的に有名なマチュピチュ、ナスカ、モチェ、インカ文明の魅力的な遺跡が多く残っています。

⑨ ボリビア Bolivia

ボリビアの国名は、独立運動の英雄シモン・ボリーバルの名にちなんだもの。世界で1番標高の高い町ラ・パスや世界一標高が高く泳ぐことができるチチカカ湖があります。ボリビアは南米でも貧しい国のひとつですが、魅力的な習慣と伝統が豊かな文化を作り上げています。

② キューバ Cuba

キューバは西インド諸島最大のキューバ島とその属島フventウ島などのサンゴ礁の小島群からなる社会主義共和国です。1492年にコロンブスが到達して以来、スペインによる植民地支配下に入りましたが、1898年の米西戦争におけるスペインの敗北を機に、1902年に独立を達成しました。

④ ドミニカ共和国 República Dominicana

ドミニカ共和国は1492年コロンブスの第1回航海で発見され、スペインの植民地開発が初めて行われた地です。西側で国境を接するハイチがフランスの影響を強く受けているのに対して、ドミニカ共和国はスペインの要素と20世紀以降のアメリカの要素が多く見られます。

⑩ ウルグアイ Uruguay

国土面積が日本の半分ほどの小さな国ウルグアイ。気候は温暖で年間を通して過ごしやすいです。治安・生活・教育水準も安定しており、広大な草原地帯を活かした農業、牧畜業が盛んです。穏やかな環境下、国民も自由にのんびりと暮らしています。興行・文化活動も盛んで、サッカー、音楽、ガウチョ体験を楽しめます。

⑪ チリ Chile

南北に細長く伸びる特徴的な国土のチリ。アルゼンチンやウルグアイと同じく、ヨーロッパからの移民の子孫が大半を占めています。ピーチや活火山、アンデス山脈と豊かな自然に囲まれています。チリはその細長い地形から気候も地域によってかなり差があります。

⑫ アルゼンチン Argentina

ブラジルに次ぐ南アメリカ第2の大国。国民の大半はヨーロッパからの移民の子孫です。この国の特徴はイグアスの滝、アンデス山脈、パンパス平原や砂漠など自然の恩恵を存分に受けていること。美しい地形のアルゼンチンはアウトドアスポーツが好きな人にとって最適な国です。

3 コース・滞在方法を決める

授業料などは公表している正規の料金を、現地通貨のままご案内しています。滞在方法は、ホームステイや共同アパート(ピソ)など、ご自分にあった滞在スタイルをお選びください。

4 手続き代行申込書の記入

指定の申込書にご記入の上、スペイン留学.jpへご提出ください。お申込み内容を確認後、正式に学校への申込み手続きを開始。お申込書の記入は日本語だけでOK!

5 渡航準備

航空券や保険、また学生ビザが必要な方は、申請に必要な書類を集めて所定の機関へ提出します。
※ビザの申請代行や航空券、海外旅行保険などの手配はサポートに含まれません。

6 留学費用のお支払い

留学費+海外送金費(6,500円)を日本円で指定口座へ入金ください。外貨建ての金額は請求書発行日のTTSレートに基づいて換算します。

出発





スタッフは全員留学経験者
入学手続き0円で代行！

スペイン留学.jp

都市、学校・コース、滞在方法、
費用、学生ビザ、ワーホリビザ
準備方法等を詳しく
ご説明いたします！



参加者プレゼント★

スペイン留学.jp
オリジナルグッズプレゼント！

スペイン・中南米 留学セミナー

大阪

神戸

OSAKA

2019年1月26日(土) 12:30～
2月8日(金) 19:30～
2月23日(土) 12:30～
3月1日(金) 19:30～
3月16日(土) 12:30～
4月5日(金) 19:30～

📍 場所 スペイン語教室ADELANTE 大阪校
〒530-0001
大阪府大阪市北区梅田2-5-8 千代田ビル西別館2F

いつかスペイン語圏に留学してみたいな～
というあなたへ！お気軽にご参加下さいませ

KOBE

2019年2月2日(土) 14:30～
3月9日(土) 14:30～
4月6日(土) 14:30～

📍 場所 スペイン語教室ADELANTE 神戸校
〒651-0084
兵庫県神戸市中央区磯辺通1-1-18 カサハラ国際プラザビル9F

※セミナーとカウンセリングは完全事前予約制です。
参加ご希望の方は必ず事前にお申しください。

上記日時以外でも随時個別カウンセリングを受け付けております。

お問合せ
はこちら

🌐 www.spainryugaku.jp ✉ info@spainryugaku.jp

☎ 06-6346-5554 (大阪本社) 📱 📧

受付時間:月～土 8:30～21:30 スペイン留学.jp (有限会社ADELANTE)



NEW

大学1・2年生のための
すぐわかる
スペイン語

廣康好美、ホセファ・ビバンコス 著
◎A5判/本体2200円+税

スペイン語文法を一から懇切丁寧に、そして難しい語彙をできるだけ使わずに解説。90の節はそれぞれ見開き2ページで完結。節毎に簡単な練習問題付き。各節末のコラムには、文法を理解・応用するためのちょっとしたヒントを盛り込んだ。

- 大学1・2年生のための すぐわかる フランス語
◎中島万紀子 著/A5判/本体2200円+税
- 大学1・2年生のための すぐわかる ドイツ語
◎穴戸里佳 著/A5判/本体2200円+税
- 大学1・2年生のための すぐわかる 中国語 改訂版
◎殷 文怡 著/A5判/本体2400円+税

〒102-0072 東京都千代田区飯田橋3-11-19 東京図書 URL <http://www.tokyo-tosho.co.jp>
TEL 03(3288)9461 FAX 03(3288)9470

サン・オフル

スペイン菓子

〒851-2106
長崎県西彼杵郡時津町左底郷290-1
TEL: 095-860-8180 FAX: 095-860-8181

西宮市国際交流協会

スペイン語
おしゃべりの会

"Ecologismo y nuevas tecnologías en España"
(スペインの環境保全と新技術)

2019年2月23日(土) 14:00～15:30
ゲスト: Marta Soler Alemany (メノルカ島出身)
会場: 兵庫県西宮市池田町11-1 フレンテ西宮4 階
TEL: (0798)32-8680 FAX: (0798)32-8678
Email: niairuka@chive.ocn.ne.jp
参加費: 500円 定員: 30名 (先着順)
お申込みは電話、FAX、Emailで/2月4日(月)より

好評 スペイン語、もっと先へ!

渡辺克義 / エフライン・ビジャモール・エレロ 共著
A5変型判 173頁 CD付 定価1,728円

「読解力」、「表現力」をもっと身につけたい学習者に!

- 会話中心の読みやすい文章 ●一歩上の文法解説
- 大学の入試過去問題(和訳・作文)をたっぷり掲載
- 付属のCDで聴き取り練習もできます!

〒162-0801 東京都新宿区山吹町363 ★価格は消費税8%込みです
Tel. (03)3267-8531 Fax. (03)3267-8606 <http://www.daisan-shobo.co.jp> 第三書房

acueductoに 広告を掲載しませんか?

「スペイン情報誌acueducto」は今年で創刊6周年。
スペイン大使館などの公共施設、スペイン語学科のある大学などの教育機関、またレストランやバルなど、日本全国のスペインに関する施設に配布しています。

✓料金

1コマ (4.5cm×4.5cm)
¥5,000- / 掲載1回分 ¥18,000- / 掲載4回分

【料金例】 ※金額は税抜です。

- 4コマ (4.5cm×18.9cm)
掲載料(1回分) ¥20,000 掲載料(4回分) ¥72,000
- 12コマ (1/2頁 14.1cm×18.9cm)
掲載料(1回分) ¥60,000 掲載料(4回分) ¥216,000

✓お申込み

ご希望のサイズ・掲載希望号をご連絡ください。
※広告の掲載場所を指定することはできません。

サイズ・料金は下記サイトより確認できます
www.acueducto.jp/publicidad

【お問合せ・お申込み先】
有限会社ADELANTE
Tel: 06-6346-5554 Email: info@acueducto.jp



¡Vamos a hablar español!

スペイン語で話そう

Lección 18

位置を示す表現

Está dentro de...

Está debajo de...



位置を示す表現

¡Hola! みなさん、こんにちは。今回は「～の上に」「～の中に」など、覚えておくと便利な位置の表現を学びましょう。日本に来たスペイン語ネイティブに観光案内するときにも、位置を伝えることはとても大事。なんとなく覚えている、という人もこの機会におさらいしましょう。

物の位置を示す表現



delante de
～の前に



detrás de
～の後ろに



debajo de
～の下に



encima de
～の上に



entre ... y ...
～と～の間に



a la izquierda de
～の左に



a la derecha de
～の右に



dentro de
～の中に



fuera de
～の外に

al lado de ～の隣に

- 例1)
Hay dos gatos debajo de la mesa.
机の下に2匹の猫がいる。
- 例2)
Manuel está entre José y Carmén.
マヌエルはホセとカルメンの間にいる。
- 例3)
Quiero estar siempre al lado de mi marido.
私はいつも夫の隣にいたい。

+ αで覚えよう!

【場所に関する言葉】

- ここ aquí
- そこ ahí
- あそこ allí
- こちら acá
- あちら allá
- 内側の interior
- 外側の exterior

aquí < ahí < allíの順で、話し手からの距離が遠くなります。aquí / allíは「ここ」「あそこ」と定点を示します。acá / alláは範囲が広く、「こちらの方」「あちらの方」と方向を示します。



スペイン語教室 ADELANTE

- ・目的やペースに合わせて選べるコース
- ・ネイティブ講師だからプチ留学気分です！
- ・自然なスペイン語がマスターできる！
- ・振替ができるので忙しくても安心！
- ・月謝払い制度
- ・一般参加 OK な特別クラス開講

無料体験レッスン
教室見学など
随時受付中!

スペイン語教室 ADELANTE
大阪校 〒530-0001 大阪府大阪市北区梅田 2-5-8 千代田ビル西別館 2F
TEL: 06-6346-5554 FAX: 06-6110-5122
神戸校 〒651-0084 兵庫県神戸市中央区磯辺通 1-1-18 カサベラ国際プラザビル 9F
TEL: 078-230-2022 FAX: 078-230-2023



AVANZAMOS A1

- 日本の学習事情を考慮して作られた西語で西語を学ぶ入門者向けテキスト
- 個人授業 / グループ授業 使用可
- 充実の104P (オールカラー)・CD付
- ¥1,944 (税込)

アデランテショップで好評販売中!
www.adelanteshop.jp

使えるスペイン語を学ぼう

Español práctico

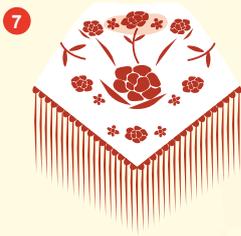
vol.12

旅行や留学で使える実践的なスペイン語を学ぶコーナー。
第12回では今号の特集にちなんで、フラメンコの世界で
使う専門用語を学んでみましょう。 ¡Ole!



フラメンコ用語

日本はスペインに次ぐフラメンコ大国！フラメンコをきっかけにスペイン語を始める人も少なくありません。
たくさんある用語の中から、基本的な衣装や楽器の名前、振り、その他の音楽用語をチェックしましょう。



- 1 sombrero 帽子
★cordobés (コルドバ帽) とも言う
- 2 abanico 扇子
- 3 castañuelas / palillos カスタネット
- 4 peineta 髪飾り
- 5 bastón ステッキ・杖
- 6 zapatos シューズ
- 7 mantón 大判シヨール
- 8 cajón カホン (パーカッション)
- 9 guitarra ギター
- 10 falda スカート

♪ フラメンコの舞台は歌、踊り、ギターで構成されます。
名詞、動詞、職業の順にチェックしましょう。

cante, cantar, cantaor/a カンテ (歌)、歌う、歌い手
baile, bailar, bailaor/a バイレ (踊り)、踊る、舞踊家
toque, tocar, guitarrista (楽器の) 響き、演奏する、ギター演奏者

vocabulario

フラメンコのレッスンや振付に関する単語を確認しておきましょう。

maestro/a	師匠・巨匠	coreografía	振付	golpe	足裏全体の打ち	peña	後援会
curso	講座	compás	リズム	planta	足裏前半分の打ち	ensayo	リハーサル
cursillo	短期講座	tiempo	表拍	punta	つま先の打ち	llamada	曲の合図
palo	曲目	contra tiempo	裏拍	tacón	かかとの打ち	salida	曲の始まり
tablas	舞台	palma	手拍子	escobilla	曲中の足打ちパート	centro	曲の中心
tablaó	タブラオ	zapateado	足拍子	jaleo	声援、喝采	remate	曲の終わり



スペイン留学.jpなら
1週間からのプチ留学も×
フラメンコなどのお稽古留学もできる♪



スペイン・中南米への留学はスペイン留学.jp

お問い合わせはこちら
www.spainryugaku.jp
info@spainryugaku.jp

大阪 06-6346-5554 神戸 078-230-2022 名古屋 052-766-6406

東京 03-6869-6435 福岡 092-517-9535

有限会社 ADELANTE 大阪市北区梅田2-5-8 千代田ビル西別館2F

今号から「関係詞」(relativo)とその用法を扱います。関係詞を含んだ文を「関係節」と言います。関係節は形容詞と同じ働きをするので「形容詞節」とも呼ばれます。例えば, "página que sigue"(続くページ)と "página siguiente"(次のページ)はほぼ同じ意味ですが, 形容詞 siguienteと同じ役割を関係節 que sigueが担っています。関係詞の用法は非常に複雑です。網羅的に扱うことは不可能なので, 本号では中級者を想定して関係詞の色々な側面を紹介することにします。

形式的には次の8つです。

関係代名詞: (el) que, quien, el cual, cuyo, cuanto

関係副詞: donde, cuando, como

疑問詞と関係詞は密接な関係があります。基本的にアクセント記号を付けて強く発音すれば疑問詞(感嘆詞), アクセント記号なしで弱く発音すれば関係詞です。ただ, el cualは関係詞の場合でも強く発音されます(ただし記号は付きません)。

関係詞は日本語話者にとって難関の1つです。理解しにくいのは日本語に相当する文法形式がないからです。あえて近いものを挙げれば, 動詞の連体形です。例えば, 「話す」の連体形は「話す〜」です(現代日本語では終止形と連体形は同じ形)。この語形を「人」の前に接続すると「話す人」, つまり "persona que habla" となります。

このように, 本来2つの文を1つの文にまとめるのが関係詞の機能です。例を使ってその基本的仕組みを見てみましょう。

Los turistas esperan el autobús. 観光客はバスを待っている。

Los turistas van al museo. 観光客は美術館に行く。

これらの文で共通しているのはそれぞれの主語の los turistasです。どちらかを関係代名詞に代えて los turistasに言及させます(この los turistasが先行詞antecedenteと呼ばれます)。どちらを関係詞に代えるかによって以下のように2種類の複文ができます。

Los turistas que esperan el autobús van al museo.

バスを待っている観光客は美術館へ行く。

Los turistas que van al museo esperan el autobús.

美術館に行く観光客はバスを待っている。

ここで使った関係代名詞 queは, 最も基本的で幅広く使われるものです。先行詞として《物》でも《人》でも受けることができます。

一方, quienは《人》(または擬人化されたもの)しか先行詞とすることができません。

La compañera con quien trabajo en la oficina es muy simpática.

私がオフィスと一緒に働いている同僚はとても感じがよい人だ。

しかし, 学習者の素朴な疑問として「なぜ queは人にも物にも使うのに quienは人だけなのか」というものがあるでしょう。「もし, queは物, quienは人とはっきり分かれていれぱすつきりするの」と。

その理由を考えてみましょう。queと quienの語源ですが, ラテン語の QUI(男性形, 女性形 QUAE, 中性形 QUOD)に由来します。QUIの対格形が QUEMでしたが, Eが二重母音になり -Mが -nに変わると quienになります。つまり, もともと同じ語の異なった変化形に過ぎません。両方とも人にも物にも使いました。後にスペイン語では, quienの方は人専用となりましたが, queは昔のままでも物でも受けるということで現在に至ります。一方, 疑問詞としてはこの分業が完成し, ¿qué?は「何?」, ¿quién?は「誰?」となりました。

関係節の前にコンマがあるかないかで2つの用法があります。あるクラスの生徒たちについて述べている以下の文を例として考えましょう。

Los alumnos que estudian mucho aprobarán.

よく勉強する生徒たちは合格するだろう。

→制限用法

Los alumnos, que estudian mucho, aprobarán.

生徒たちは——彼らはよく勉強するのだが——合格するだろう。

→説明用法

前者を「制限用法」(uso especificativo), 後者を「説明用法」(uso explicativo)と呼びます。用語は他に, 前者を「限定用法」等, 後者を「非制限用法」, 「継続用法」等と様々あります。

それでは意味の違いを理解するために集合の図形を使って考えてみましょう。以下のように (a)と (b)2つの集合があります。



(a)《クラス全体の生徒》の集合



(b)《合格する生徒》の集合

これらの集合はどのように重なるのでしょうか。それぞれの用法によって (i)と (ii)の場合があります。

(i) 制限的方法



(a)の中に(b)が含まれる。

(ii) 説明的方法



(a)と(b)が一致して重なる。

(i)では意味が制限されています。一方 (ii)では追加説明がされていますが, 制限はされていません。つまり, 前者では「一部の生徒のみが合格」し, 後者では「全員が合格」することになります。

さて, 基本的な関係代名詞 queですが, 定冠詞を伴うことができます。

Ayer me visitó la hermana de Pedro, a la que había conocido antes.

昨夜ペドロの妹が訪ねてきたが, 以前に知り合っていた。

定冠詞のおかげで関係詞は Pedroではなく la hermanaを指していることがわかります。このように定冠詞付きの queはより文意をはっきりさせることができ, 前置詞を伴うときによく使われます。

ただし, 前置詞が a, de, en, con で制限用法の場合は定冠詞を省略することができます。

Esta es la pluma con (la) que se firmó ese tratado histórico.

これがその歴史的な条約が署名されたペンだ。

porも省略される場合がありますが, 省略しない方が望ましいとされています。なぜなら por queは理由の接続詞 porque〜(〜なので)と紛らわしいからです。

Desconozco la razón por la que ella no apareció.

彼女が現れなかった理由はわからない。

今号では関係詞の基本的仕組みと (el) que, quienを扱いましたが, 次号ではその他の用法に進む予定です。



仲井 邦佳 / Kuniyoshi Nakai

立命館大学産業社会学部教授。専門はスペイン語学。著書に『はじめてのエスパニョール』(共著、三修社)、『中級スペイン語一文法と演習』(共著、同学社)などがある。

ビジネス スペイン語

(NIVEL) 中級(B2)以上

Vol.17

引き続き製造部門と生産現場の様々な表現と用語を学ぶことにします。工作上、必要な方は頭に入れ、日常業務あるいは現場でどんどん使って語彙力と応用力を高めてください。実践あるのみです。

伊藤 嘉太郎先生
Yoshitaro Ito
長年の海外経験を活かし、
大学でのビジネススペイン語
非常勤講師などを歴任。



☑ 例文は西文和訳、和文西訳のどちらからでも学習できます。

ejemplo 1

Ahora que la manufactura depende de las máquinas robotizadas, dejando al mínimo el uso de la mano de obra, no es fácil formar aquellos técnicos bien adiestrados de antaño.

今や、モノづくりはロボット機械に依存することで、人手に頼る部分を最小限度にしている、あの昔風の優れた熟練工は生まれにくくなっている。

ejemplo 2

Aparte de que habitualmente en la línea de producción hay algunos puntos para la revisión de la calidad, en el proceso final se lleva a cabo un estricto control de calidad.

通常生産ラインの中に品質検査のポイントが何ヶ所かあるのとは別に、最終工程で厳しい品質管理が行われている。

ejemplo 3

Un técnico veterano a cargo del mantenimiento de las máquinas sabe detectar dónde se encuentran los fallos y sus causas simplemente escuchando ruidos extraños de las propias máquinas, por muy menudos que sean.

機械の保守担当のベテラン技能者は、どんなに僅かであっても機械自体の異常音を聞くだけで故障箇所とその原因を突き止めることができる。

ejemplo 4

Quando se trata del inventario de productos obsoletos, hay una medida de rematarlos en última instancia, pero no así el inventario de materiales obsoletos que se contabilizará como pérdida casi en un 100%.

陳腐化製品の在庫だと、仕方なくたたき売るという手段があるが、陳腐化材料在庫はそうとはいかずほぼ100%損失処理となる。

ejemplo 5

Se cuentan en el cálculo del coste de fabricación gastos de materiales, mano de obra directa e indirecta, energéticos, depreciación de máquinas e instalaciones, entre otros.

製造原価計算で計上されるのは、材料費、直接・間接労務費、動力費、機械・設備の償却費、等である。

前回と合わせて、製造現場でのほんの一部の用語や表現を学びました。次回はどのようなジャンルになるか楽しみに。

ejemplo 1

- 1 ahora que... : ~である今となつては、ここでは頭から訳して「今や...」と表現する
- 2 la manufactura : 本来の意味は製品、製造、あるいは工場。モノづくりの同義語は“fabricación, producción”. 完成品は“producto terminado/acabado/final”. 半製品は“producto semi-manufacturado/semi-elaborado”. 仕掛品は“producto en proceso”
- 3 las máquinas robotizadas : 前号で例示した“los robots industriales”と同義でロボット機械
- 4 el uso de la mano de obra : そのままの意味では“人手(労務)の使用”
- 5 no es fácil formar : 簡単には養成(育成、教育)されない ⇒ 生まれない
- 6 aquellos técnicos bien adiestrados de antaño : aquellos は漠然と不特定の人を示しているだけで、和訳には省略しても差し支えない。“adiestrados”は“hábiles”と同じ

ejemplo 2

- 1 aparte de que : “aparte que...”とも表現される。“independientemente de que...”と同義
- 2 la línea de producción : 製造・生産ライン。組立てラインは“línea de ensamble/ensamblaje/montaje”
- 3 la revisión de la calidad : “revisión”に代わって“inspección”も使われる
- 4 control de calidad : スペインでは“control”よりも“gestión”が使用される。優れた品質は“óptima calidad”、劣悪な品質は“ínfima calidad”

ejemplo 3

- 1 a cargo de... : ~の担当。“encargado de...”も同義。ただし前者は会計用語では「~の負担で、勘定で」と別の意味になる
- 2 sabe detectar : “saber”は能力を表し、“Juan sabe nadar”の場合と同じ
- 3 dónde se encuentran los fallos y sus causas : ラテンアメリカでは“fallos”ではなく“fallas”(失敗、故障、欠陥)が使われる
- 4 ruidos extraños : いつもとは違う異常な音
- 5 por muy menudos que sean : この従属節の主語は“ruidos extraños”

ejemplo 4

- 1 inventario de productos obsoletos : “inventario”は「棚卸」の意味もある。陳腐化製品とは売れ残ったり、古くなって所定の値段で売れないものを指す
- 2 rematarlos : “rematar”は大幅値引きでたたき売って処分すること
- 3 en última instancia : 仕方なく、ほかに打つ手がない
- 4 no así : たたき売りできない、という意味
- 5 se contabilizará como pérdida : 損失として経理処理される、ということ

ejemplo 5

- 1 el cálculo del coste de fabricación : “coste”はスペイン、“costo”はラテンアメリカで使われる
- 2 materiales : “materias primas”(原材料)も同義
- 3 mano de obra directa e indirecta : 生産現場で要する労力・労賃のことで、直労・間労ともいう
- 4 energéticos : 光熱や燃料費
- 5 depreciación de máquinas e instalaciones : “depreciación”は減価償却のこと。為替用語としては「通貨切り下げ」の意味がある
- 6 entre otros : 中でも、等、ということ。この“otros”は“otros gastos”のことで、「数ある費用の中でも」が本来の意味。通常このフレーズは「等」と訳される

もっと詳しく
知りたい方は...

中級ビジネス スペイン語特別講座

【対象者】

現地のビジネスパーソンでビジネススペイン語力を高めたい方、
将来スペイン語を使った仕事に就く予定・計画のある方、
スペイン語のステップアップとして実践的なスペイン語学習を求める方

【講座内容】

ビジネス関連情報の読み取り方、顧客への自社業務・担当業務の説明、
E-mailによる社内外とのコミュニケーション等

【講座概要】

計6講座(各90分)
定員: 4~5名の少人数クラス
(最小実施人数3名)
講師: 伊藤嘉太郎
場所: スペイン語教室 ADELANTE
大阪校 | 神戸校





スペイン語のユニークな慣用表現を学びましょう！

今回はスペインの軍隊、警察、治安警備隊を例に学びます。

スペインの治安組織は実は種類が多いのです。順番にチェック！

A capa y espada



Sacar los tanques a la calle



A capa y espada

マントと剣で→死守する、守り抜く、全力で防戦する

マントと剣は、西洋剣術で用いられる防具と武器。かつての騎士道精神に習って、守るべきものを己の攻防で守り抜く姿勢。

Los soldados lucharon a capa y espada defendiendo la frontera del país.

兵士たちは国境線の防衛のため、全力で戦い抜いた。

Sacar los tanques a la calle

戦車を道で走らせる→クーデターを起こす

tanquesは戦車のこと。軍隊や武装警察が国に対して反乱を起こした時に使われる表現。

Los militares contrarios al nuevo orden constitucional sacaron los tanques a la calle.

新しい立憲秩序に反対した軍人たちは、クーデターを起こした。

軍隊

MILITAR

Poner el cascabel al gato



Meter la cabeza en la arena



Poner el cascabel al gato

猫に鈴をつける→自ら危険な任務に挑む

猫に鈴をつけるためには、引っかけられるリスクも負わなくてはならない。危険を承知の上で重大任務に挑むこと。

El barrio está tranquilo porque la Policía le puso el cascabel al gato y acabó con la venta de droga en la calle.
警察が危険を顧みず、路上の薬物ビジネスを始末したから、その地区は平和である。

Meter la cabeza en la arena

砂に頭を突っ込む→現実逃避、見て見ぬふりをする

現実の問題から目を背け、トンチンカンな行為に走る。

El policia encargado del caso metió la cabeza en la arena y el asesino anda libre por la ciudad.

その事件を担当していた警察官が無茶苦茶な捜査をしたせいで、殺人犯は街中で自由に行動している。

国家警察
自治州警察

POLICÍA NACIONAL
Y AUTONÓMICA

Tirar del hilo



Dejar cabos sueltos



Tirar del hilo

糸を引っ張る→手がかりを元に調査する

indagar(捜査する)の別表現。糸(手がかり)を手繰り寄せて事件の真相を突き止めること。

La pareja de la guardia civil encargada de investigar el asalto al banco, tiró del hilo y capturó al atracador.
銀行強盗の捜査にあたった治安警備隊の2人組は、手がかりを元に強盗犯を捕まえた。

Dejar cabos sueltos

バラバラの糸を放っておく→未解決のままにする

sueltoは「バラバラの、束ねられていない」の意。手がかりがあっても捜査・検討を始めるに放置する。

El juez tuvo que archivar el caso porque, la pareja de la Guardia Civil encargada del caso, dejó cabos sueltos.

事件の担当をしていた治安警備隊の2人組が捜査を放ったらかしにしていたので、判事がその事件を整理しなければならなかった。

治安警備隊

Guardia Civil

Aguantar lo que le echen



Actuar en caliente



Aguantar lo que le echen

押し寄せてくるものに耐える→ひたすら防衛する

aguantarは耐え忍ぶ、こらえるの意味。大衆のデモに対して暴力で抑え込むようなことはせず、ひたすらその圧力に耐える。

Hoy, en la manifestación de los antisistema, la policía antidisturbios tendrá que aguantar lo que le echen.

今日は反体制デモがあるが、機動隊は押し寄せてくる大衆の波に耐えなければならないだろう。

Actuar en caliente

直ちに行動する→すぐに反撃する

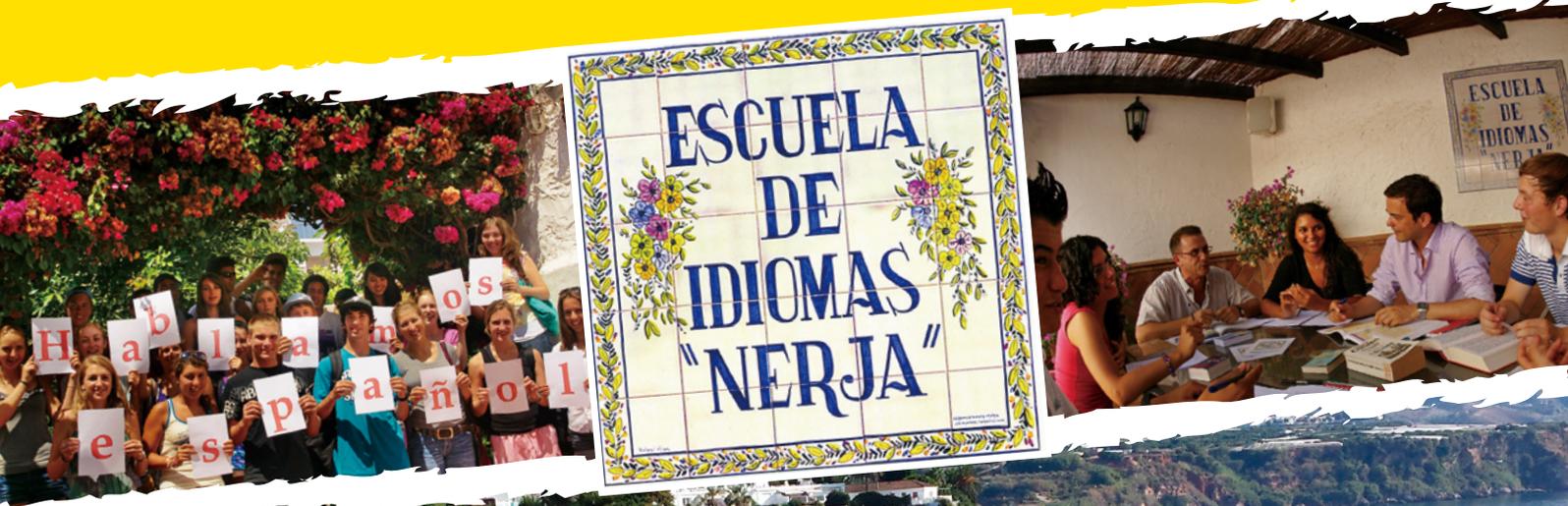
en calienteは即行動すること。機動隊の場合、デモが始まったらさかさず力でねじ伏せるような強行策を取ること。

El ministro del Interior ha presentado su dimisión porque, en la manifestación de ayer, los antidisturbios actuaron en caliente.

昨日のデモで機動隊が大衆に対して強行手段に出たことで、内務大臣は辞職する意向を示した。

機動隊

POLICÍA
ANTIDISTURBIOS



アンダルシアでスペイン語を学ぼう。

アンダルシア流の
生活を楽しみ、
文化を体験しよう！



生きたスペイン語を学べるコースと
充実したアクティビティ・プログラム

選べる滞在スタイル

• 学生用ホテル（クラブ・コスタ・ネルハ） • アパート • ホームステイ

Escuela de Idiomas Nerja ~ C/Almirante Ferrándiz 73 ~ 29780 Nerja ~ Málaga

info@idnerja.com ~ www.idnerja.com

スペインと 日本をつなぐ人びと

番外編

TEXT0 = Miwa Nakamura (プロフィールはp.46)



NÚMERO

5

España

Japón

「日本産米粉は、食感、味どれをとっても、 スペイン産やどの国の米粉とも まったく異なるものだ」

日本産米粉を使ったケーキやパスタなどを使った料理を試食した
多くのスペインの人々は、驚きの声をあげた。

毎回スペインで活躍する日本人を紹介する本シリーズだが、
今回は番外編として、スペインで活躍する「人」ではなく、
「商品」を紹介したいと思う。



(左)バジェルモソ市場でのグルテンフリー米粉パスタのクッキングショー
(右)大使公邸で行われた天皇誕生日でも米粉のPRが行われ、国内産米粉
促進ネットワークの萩田副理事長より米粉の蒸しケーキが振舞われた

スペインで注目を集める日本の「KOMEKO」

日本の NPO 法人国内産米粉促進ネットワーク

米粉プロモーションWEBサイト
komeko.es

12月1日、マドリードのカサ・デ・カンボの見本市
会場にて、セリアック協会が開催する「セリアック・フェ
スティバル」が開催され、初めての日本産グルテン
フリー食品の出展者として、日本のNPO法人国内
産米粉促進ネットワークが参加した。

セリアックとは、小麦・大麦・ライ麦などに含まれる
グルテンに対するアレルギーで、ジェットロ(日本貿易
振興機構)の談話によれば、スペイン人口の1%ほ
どがこのアレルギーを持っているとされる。さらに、
アレルギーとまではいかないまでも、グルテンを避け
た方が体調がいいと感じたり、健康的な食のスタイル
としてなどの理由でグルテンフリー食品を選択する
層が7-8%ほどといわれ、ここ数年スペインのスー
パーマーケットやレストランなどでもグルテンフリー食
品をよく見かけるようになった。

グルテンフリー食における小麦の代替品としては、
スペイン産米粉も一般的な原材料の1つではあるが、
日本産米粉は「まったく異なる」と、一度でもそれを



セリアックフェスティバルでの米粉料理ワークショップも盛況。
熱心にメモを取る参加者も

を口にしたことのあるスペイン人の多くが認めている。
米自体の品質は勿論のこと、その技術の高さで、味
や栄養素を損なうことなく、非常にきめ細やかな粒
子に製粉されていることが最大の特徴で、特に日
本産米粉を使ったケーキのスポンジなどの口当たり
の良さとふわとした食感や、ベシャメルソースなど
に使った場合の滑らかさは、「スペイン産米粉との
比較だけでなく、通常的小麦を使うよりもずっと美味
しい」と、今年1月から2月に行われた第1回目のマ
ドリードでのプロモーションでも、現地のグルテンフリー
食品関係者を中心に KOMEKO という日本語での
名称とともに、大きな反響があり、主にグルテンフリー
のレストランやベーカリー、卸売業者などから、購入
を求める声があがっていた。

このような多くの要望に応じて、KOMEKO 商品
を実際にスペインで販売開始するべく、今回二度目
となるマドリードプロモーションが行われ、毎年6000
人のセリアック関係者が訪れるセリアック・フェスティ
バルが、スペインでの最初の試験販売の場として
選ばれた。同フェスティバルにあわせて、ラーメンや
パスタなどの米粉の半生麺を生産する小林生麺株
式会社や、パンケーキやお好み焼きなどの米粉の
ミックス粉や乾燥ペンネなどを生産する大淵村あき
たこまち生産者協会も参加し、試食や販売を行う
KOMEKO プースは終日大盛況で、中にはこの日一
日で売り切れる米粉商品もでるほどの人気ぶりだった。

また同じ週末には、マドリード市内のバジェルモ

ソ市場にて、KOMEKO FESTIVAL というイベント
が行われ、市場内にある飲食店10店の協力で、日
本産米粉を使ったお好み焼きやうどん、クレープ、パ
スタ、フォカッチャ、チキンフライなどの料理を各店
舗で提供し、市場の店舗では KOMEKO 商品の販
売も行われた。実際にレストランで米粉商品を使っ
てもらう中で、スペインの料理人たちに米粉の品質
を実感してもらうとともに、セリアック関連以外のよ
り広い層に日本産米粉を食べてもらうことが狙いだ。

市場内には日本料理店 Washoku や、グルテン
フリー認証を持つイタリア料理店 KINT などがあり、
米粉のお好み焼きミックスやフェトチーネ、100%の
米粉など、ぜひ継続して米粉商品を使用することも
検討したい、という声も聞かれた。

「グルテンアレルギーの人が家族や友人の中に1人
いれば、一緒にキッチンやテーブルを一緒にする全
員がグルテンに気を遣いながら食事する必要があ
った。でも、グルテンフリーの KOMEKO は、アレルギー
の有無にかかわらず、全員が美味しく食べられる。
それがとても重要だ」

フェスティバル内で取材を受けた中で、インタビ
ュー側からもそのようなコメントが出ており、日本産
米粉への期待と可能性を示している。



YouTube

「スペインと日本をつなぐ人
びと」インタビュー動画はこちら

ピアニスト・下山静香の 音楽の時間



スペインが誇る名ピアニストたちの話



アリシア・デ・ラローチャ
©Generalitat de Catalunya

「スペインを代表するピアニスト」といえば、真っ先にアリシア・デ・ラローチャ(1923-2009)の名前が挙がるだろう。私が小学生の頃、ラローチャは“鍵盤の女王”と呼ばれていた。よく聴いていたモーツァルトのLPの帯に、そう書いてあったのだ。ベートーヴェンのピアノ協奏曲第1番などもお気に入り、私にとって彼女はずっと古典派のイメージだった。スペイン音楽のスペシャリストでもあることは、自分が実際にスペイン音楽に触れるようになるまでほとんど知らなかったというのが正直なところ。そしていざ知ってみれば……超難曲として知られるアルベニスの《イベリア》やグラナドスの《ゴイエスカス》はまさにお手本、絶対女王の迫力と風格にノックアウトされたことは言うまでもない。そんな雲の上のピアニストに直接会えて、しかもレッスンを受けられるなんて想像もしていなかったのだけれど、気付いたらそうになっていたのは幸運以外の何物でもなかったと思う。

6歳でリサイタルデビューを果たして以来、長年にわたり第一線で走り続けたラローチャが引退したのは、ちょうど私が日本に帰ってきた年だった。まだまだお元気なのにと驚いたその数年後にこの世を去ってしまわれてとても悲しかったけれど、遺してくれた数々の名盤はこれからもずっと聴き継がれていくことだろう。

ラローチャが生まれ育ったのはカタルーニャのバルセロナ。ここは今も昔も特別な「芸術の都」である。19世紀半ば頃から経済発展によってブルジョワが増加、音楽を楽しむ彼らの受け皿として劇場が創られ、音楽教育のレベルも引き上げられて、スペイン随一の音楽都市となっていたのだ。そんな雰囲気の中、パリで研鑽したのちバルセロナに戻り個人音楽院を開いたジョアン・バプティスタ・プジョールの門下からは、逸材が次々と巣立っていく。アルベニス、グラナドス、ホアキン・マラッツ、リカルド・ビニェス……。彼らのピアニズムは明晰で色彩感にあふれ、優れたペダルのテクニックをもってピアノという楽器の魅力を最大限に引き出すもので、まるで即興しているように自然な演奏だったと云われている。そして、グラナドスがバルセロナで創設した音楽院を引き継いだ高弟のフランク・マーシャルに師事して才能を開花させたのが、ラローチャなのである。

ラローチャに出会う前、私はマドリッドに住んでいて、彼女の妹弟子でスペイン王室のピアノ教師もしていたロサ・マリア・クチャルスキのもとで研鑽していた。ロサ・サバテル(1929-83)というピアニストのことは、彼女に教えてもらった。同年生まれなのだそう。サバテルもマーシャル門下で、ラローチャも含めて姉妹弟子仲間なのだ。サバテルは、カタルーニャが生んだ国際的女流としてラローチャと並び称されたのだが、50代半ばに差しかかりよいよ円熟期という時に、飛行機事故の犠牲となって他界してしまったのが惜し

まれる。彼女の弾く《イベリア》や《ゴイエスカス》は、女性らしい優美さと華やかさを併せ持つというのだろうか、ラローチャとはまた違う魅力をたたえてこちらも聴く価値あり。

スペインで初めて行った夏の講習会では、エステバン・サンチェス(1934-97)の存在を知った。同じく講習に参加していた10代前半と思しき男の子たちから「エステバン・サンチェスを聴いたことある？」と訊かれ、「うん知らない」と答えると、口をそろえて「エステバン・サンチェスを知らないって？ あり得ない、¡Tienes que escucharlo! ¡Es super!」と推してきたのだ。バダホスからやってきていた彼らにとって、同郷人のサンチェスは憧れのスターなのだった。しかし、ローカルな範囲にとどまるピアニストではないことは録音を聴いてすぐに分かった。アルフレッド・コルトーは、自分の弟子である彼を「20世紀の天才音楽家」と賞賛している。また、ダニエル・バレンボイムは、あるインタビューで「マエストロはいつアルベニスの《イベリア》を録音してくださるのでしょうか？」と訊かれ、「エステバン・サンチェスの演奏のあとには、もうほとんど付け加えるものがないでしょう」と答えたそうだ。

サンチェスは、私がスペインに住み始める2年前に急死してしまっていた。『エル・パイス』紙に掲載され訃報記事の見出しは、「スペインピアノ音楽の隠れた天才、エステバン・サンチェス逝去」。その稀有な才能は、国外に広く知られる機会に恵まれなかったのかもしれない。

もう1人、ひょんなことから知ったのが、サラゴサ出身の国際的ピアニスト、ルイス・ガルベ(1908-95)だ。この街に住んでいた時「会って見たら？」と紹介されたのが、ガルベの未亡人ヘオルヒーナだった。彼女と仲良くなった私は、御宅を時々訪ねるようになった。時間を忘れておしゃべりをし、ガルベのピアノを弾かせてもらい、演奏録音と一緒に聴いた。ファリャもトゥリーナも絶賛したという彼のピアノに私が感じたのは、「品格」。特にスカララッティなど各段の美しさだった。「彼が生きていれば、あなたに会わせてあげられたのに……」というのがヘオルヒーナの口癖だった。でも、録音はいつもワンテイクだったというガルベの素晴らしい演奏を、彼の人柄と音楽を愛してやまない夫人と聴くことができただけでも幸せに思う。あの貴重な音源が、いつか何かの形で復活することを願ってやまない。



ルイス・ガルベ邸にて、ヘオルヒーナと筆者。後ろの額に飾られているのはガルベの肖像画

スペインには、“知られざる名ピアニスト”がまだまだ埋もれていそう。スペインらしいとも言えるのだけれど、彼らの多彩な演奏が多くの方の耳に届くようになったらいいな、と思う私なのだった。



下山 静香 / Shizuka Shimoyama

桐朋学園大学卒。99年、文化庁派遣芸術家在外研修員として渡西、マドリード、バルセロナほかで研鑽。NHK-BS、Eテレ、フランス国営ラジオなどに出演。海外アーティストとの共演多数。CD《ゴイエスカス》《ショパニアナ》など11枚、共著は10冊以上を数える。単著『裸足のピアニスト』、翻訳書『サンティアゴ巡礼の歴史』。2015年より「下山静香とめぐるスペイン 音楽と美術の旅」ツアーシリーズを実施。桐朋学園大学、東京大学 非常勤講師。日本スペインピアノ音楽学会理事。

www.facebook.com/shizukapianista17

裸足のピアニスト・下山静香のブログ ameblo.jp/shizukamusica

★ニューアルバム《Alma errante ~ さすらいの魂》中南米ピアノ名曲コレクションII・アルゼンチン編
2018年11月27日正式リリース!

Información

★ 2月17日(日)15時～

下山静香ピアノリサイタル
('音楽の楽しみ'シリーズ 東
京都世田谷区・カルラホール)



歴史

バスク地方の歴史

マヌエル・モンテロ 著 萩尾生 訳

711年にアフリカからイスラム勢力が侵攻し、瞬く間にイベリア半島全域を席卷したが、北のバスク地方とその西側一帯は制圧されず、この地に緊急避難したカトリック勢力が戦列を編成した。ゆえにこの地は「国土回復戦争(レコンキスタ)」の発祥地、すなわちスペイン・カトリックの復活の拠点となった。換言すれば、敬虔なカトリック信仰揺籃の地である。

こうしたカトリシズムとバスク・ナショナリズムが個々に屹立し、不幸にも相剋する関係で現出したのが、スペイン内戦である。バスク地方はカトリックを指導理念の1つにしつつ、民族自決を容認しないフランコ叛乱軍側につくか、その真逆の、反教権主義の下でカトリシズムとの敵対関係を鮮明にしつつ、バスクの自治を容認する共和国政府側につくか、この二律背反の選択を迫られたのだった。

バスクは人民戦線政府を選択する。1936年10月1日、共和国政府はバスク自治憲章を公布。7日、ホセ・アントニオ・アギーレを首班とするバスク自治政府が成立する。

バスク政府は、独自の軍隊、独自の貨幣の鑄造・発行などの施策を通して、自治体制の強化を図った。叛乱軍のマドリド包囲作戦が進捗せずに戦線は膠着状態になり、軍の

攻撃目標は北部戦線に移された。1937年4月26日のゲルニカの無差別攻撃を典型例とするバスク攻撃である。6月19日、バスク政府の首都ビルボ(スペイン語でビルバオ)が陥落する。バスク政府は、カタルーニャ自治政府の所在地バルセロナに移る。この4日後、フランコはビスカイアとギプスコアの2県に「反逆」の責任を記す法令を公布し、両県の経済協約を破棄した。

1939年4月1日、フランコの内戦終結と勝利宣言。バスク政府は亡命政府としてパリに移る。バスクから脱出できなかったバスク地方の人々に対するフランコ陣営の弾圧は執拗だった。まず、彼らの独自の言語であるバスク語の禁止、さらにバスク人の民族的な習慣や伝統の禁止など、「スペインは1つ」をスペイン全土に強制したのだった。

1959年、バスク・ナショナリズムの果敢な行動主義を主眼とするETA(バスク祖国と自由)が創設される。当初はバスク民族の文化復興を目指す若者の団体だったが、やがてバスク民族の自治権行使による独立を求める労働者と連帯し、フランコ陣営との死闘が続くことになる。70年12月、ETAの指導者たちはブルゴス軍事裁判で死刑の判決が下され

たが、内外の世論の反発を受けて刑は執行できなかった。反フランコ闘争の極めつけは、73年12月のフランコの懐刀であるカレロ・ブランコ首相の爆殺であった。

1975年のフランコの死をもって、スペインも次第に西欧社会のメンバーに加わるようになる。78年のスペイン憲法は、バスク自治州憲章の公布を認め、翌年、住民投票で過半数の賛同を得て承認された。80年、初めてバスク自治州議会選挙が行われ、34万票(36%)の得票数を得たPNV(バスク・ナショナリスト党、1895年結党)がバスク3県で勝利する。86年、PNVの単独政権の終焉。これ以降、連立政権が続く。

2016年10月7日、バスク自治政府が誕生してから80年の記念日に、ゲルニカで、バスクの民主勢力が総力を挙げて「バスクの独立」に邁進したことを記念する催しが行われた。参列者の中には、歴代の政府首班、そして初代大統領アギーレの遺族、さまざまな政党関係者、音楽家や作家、それにバスク語で小説を書き続けているキルメン・ウリベ(『ムシェ 小さな英雄の物語』の著者、白水社刊)もいた。

バスクの民族的な戦いは、カタルーニャ独立運動と異なり、これからも続きそうである。



■明石書店
■2018年2月刊
■定価4200円+税

小説

ゆかいなセリア

エレナ・フォルトウン 著 西村 英一郎・西村 よう子 訳

本書の舞台は1920年代のマドリド。まず、この時代のスペイン社会についてアウトラインを述べておこう。

スペインは、第一次世界大戦に中立を宣言する。そのためにヨーロッパの交戦国に対する戦争特需で産業は急激に発展し、初めて輸出超過となる。しかし景気が好調になるも、物価は激しく騰貴する。1921年7月、スペイン領の唯一の植民地モロッコで解放軍とスペイン軍との軍事衝突が起こり、スペイン軍は壊滅、約8千人の戦死者を出した。この事件は政府、議会、軍部の間の激しい対立を惹起し、政局は大混乱を引き起こす。軍部の体たらくが暴露され、軍部と親密な関係と維持していた国王アルフォンソ13世に対する批判が高まり、モロッコ戦争反対運動も次第に激しくなっていく。内閣は頻繁に交代し、1923年9月、プリモ・デ・リベラ将軍がプロムシミアメント(蜂起宣言)を行い、秩序回復とモロッコ問題解決のために軍事政権の樹立を要求する。アルフォンソ13世はこれを認めてプリモを首相に任命した。この時、スペインがイギリス政治を模範としている立憲君主制を放棄したことになる。その後、プリモ独裁政権は

世界経済恐慌のおおりに受けて1930年1月に総辞職する。

このように激動する当時のスペイン社会。厳しい現実とは対照的に、人々に笑顔を取り戻させてくれるかのように、セリアの話は実に融通無碍である。

本書の主人公はセリア。金髪、明るい目、大きな口をした7歳の少女。彼女はお茶目で天真爛漫、空想話をして相手をびびりさせるのが大好きである。「とてもきれいです。ママがそのことをパパにこっそり言ったのを、セリアは耳にしました」と告白する、なんともおませな女の子である。

セリアは、マドリド随一の高級宅街セラノ通りで家族とともに暮らしている。恵まれた幸せな家庭環境——両親、弟、運転手、庭番、乳母、料理人、メイド、イギリス人家庭教師がいて、別荘のある——で育った。

本書は、各篇に2~4葉のイラスト付きの、44篇の「セリアの物語」から成り立っている。いずれも予期せぬ子どもの万華鏡のような世界を垣間見せてくれる。

彼女が乳母のドニャ・ベニータと一緒にいた別荘で、飼った犬が7匹の子犬を産ん

だ。庭番のマヌエルはその子犬を川に捨てると言ひ、庭番の妻マリアはレタス畑を荒らすからと、子犬たちを棒で殴る。これでは、セリアは乳母と散歩に出かけられない。そこで干されていたマヌエルの靴下に1匹ずつ入れて隠す。だが、最後の1匹分の靴下が足りない。そこで乳母の小さなハンドバックに入れる。散歩から戻ると、靴下は子犬の重みで伸びきってしまい、乳母のハンドバックは子犬がおしっこをしたために変色していた(「グリラの子犬」)。

ドニャ・ベニータが耳にしてきた噂話によると、セリアの教会をインドの国王が買ってしまおうという。そこでセリアは友達のカロティカと力を合わせて、自分たちで教会を買おうということになり、手持ちの全財産を密かに抱え、教会の神父さんのいる司教館に向かった。確かに聖堂には足場が組まれていた。だが、それはお祭りに使う塔修理用の足場だったのだ(「礼拝堂を買いに」)。

そして最終篇の「アディオス」では「これからもみんなが笑ってしまうようないたずらをぜんぶ話すつもりです」と結んでいる。

本書は、児童書(セリアシリーズ)12連作の第1作目(1943年)の邦訳版である。



■彩流社
■2018年1月刊
■定価2500円+税

書評 (p.40)

川成 洋
Yo Kawanari
1942年札幌で生まれる。北海道大学文学部卒業。東京都立大学大学院修士課程修了。社会学博士(一橋大学)。法政大学名誉教授。スペイン現代史学会会長、武道家(合気道6段、杖道3段、居合道4段)。書評家。主要著書:『青春のスペイン戦争』(中公新書)、『スペイン—未完の現代史』(彩流社)、『スペイン—歴史の旅』(人間社)、『ジャック白井と国際旅団—スペイン内戦を戦った日本人』(中公文庫)他。

スペイン子連れ漫遊記

森 久美子 著



■東京図書出版
(版元品切)
■2016年9月刊
■定価1200円+税

書評

宮田 渚
(acueducto編集部)

著者とフラメンコの出会いは、1枚のレコードがきっかけだった。水玉模様のフリルスカートを着たスペイン女性の印象的なジャケットが目にとまり、そのレコード『スペインギター曲集』に針を落とすと、胸をかき乱されるような激しいギターの演奏が始まり、たちまち虜になってしまったという。その時から彼女はフラメンコ一筋の人生を歩み始める。初めてスペインの地を踏んだ1989年は、海外がまだ遠い時代だった。現地のフラメンコ文化に触れたいと一念発起し、まだ幼い2人の娘を連れて、スペイン各地の教室を訪れながら続けた旅。本書にはそんな旅の思い出が取められている。

著者はスペイン滞在中に訪れた場所を順番に回想していく。マドリド、アランフェス、トレド、ラ・マンチャの風車の町、アルマグロと南下していき、次いでフラメンコの中心地であるアンダルシアが舞台となる。コルドバではヒターノ(ジプシー)の青年との出会いがあり、グラナダ滞在中は洞窟のフラメンコを見るためにサクロモンテも訪れた。ここでは、マドリドで鑑賞した都会のフラメンコとグラナダの土臭いフラメンコ、同じ舞踊であるとはいえ2つの対照

的な舞台を知る。当時、グラナダでは昔の風習がまだ残っており、幼い子供にも観光客の前でフラメンコを踊らせて生活の糧を得るヒターノの家族が少なくなかった。厳しい生活と密着したフラメンコは著者に大きな衝撃を与えた。

セビーリャ、カディス、カサレスと、アンダルシア各地を巡る旅は続く。もちろん我が子2人を連れた旅は容易ではない。新鮮であると同時に危険な異国の地。日本と異なる生活習慣を受け入れながら、すべてスペイン語で対処していかななくてはならない。けれどもそんな旅だからこそ、二度と得難い感動や発見ができる。地中海の美しい青空や美味しい郷土料理、セビーリャのタブラオで鑑賞した魂をゆさぶるフラメンコの踊り。マラガでは現地在住の日本人小説家との出会いがあり、心の安らぎを得た。アンダルシアを離れた後はバレンシア、カタルーニャと北上していく。まだ日本人観光客の少なかった当時のバルセロナの、誰もいない雨のグエル公園。そこで木々の影から聞こえてきたマルティネーテの唄に、時間が止まった——ふとした瞬間の感動が本書には生き生きと書き記されている。

著者のスペイン滞在から30年。今ではプロとして自身のフラメンコを確立し、繰り返しスペインを訪れる人生だ。けれどもスペインがまだ遠かった時代、著者は手探りでフラメンコを学んでいた。スペイン渡航も、最初は命がけだった。現代では通信技術の発達により、海の向こうのニュースも簡単に手に入れることができるようになった。では、フラメンコをある程度まで修練し、さらに技術や表現力を磨きたいと思っただら？ この文化の真髄や土地に宿った歴史と芸術を知りたいと思っただら？ やはりその時スペインを訪れるのではないだろうか。本書はそんな夢を実現した体験記として読むにも面白い。

森 久美子 / Kumiko Mori



フラメンコ舞踊家。1989年、2人の娘と共にフラメンコを求めスペイン各地を旅する。帰国後、舞踊家として活動を始め、1995年に自身の舞踊団を結成し、全国の小・中・高校の芸術鑑賞会やイベントなどで活躍。1999年熊野体験博覧会、2000年ニューヨーク、2005年イタリアで『和のフラメンコ』の公演を行い、2012年、2016年には、本場スペインでも公演を開催し、高く評価され絶賛を浴びる。主な舞踊作品には【津軽三味線×フラメンコ 炎の道成寺～清姫伝説～】(2008年)【武道×フラメンコ 侍フラメンコ～吉宗～】(2014年・2016年)【琵琶×フラメンコ 根来伝説～住蛇が池～】(2018年)など、日本人ならではのフラメンコを創作し活躍している。フラメンコアカデミア<ラ・ダンサアンダルシア>主宰。和歌山フラメンコ協会会長。和歌山県文化アドバイザー。2009年和歌山県文化奨励賞受賞。2016年和歌山市文化功労賞受賞。

■この書籍に関するお問い合わせ先
フラメンコアカデミア<ラ・ダンサアンダルシア>
〒640-8342 和歌山市友田町4丁目1-10
TEL: 073-402-4331
E-Mail: info@la-danza-andalucia.com

Dulce Mina
スペイン菓子工房
ドウルセ・ミーナ
— ボルボン、トゥロン手作りの店 —
茨城県守谷市ひがし野3-11-2
TEL 0297-45-2740
http://dulcemina.jp/

吉川二郎ギター教室
初學者歓迎！
コンサートフラメンコギター
クラシックギター & ギタルパ
花屋敷教室(宝塚市)
東京教室(月1回)
静岡教室(月1回)
ギター・ギタルパサークル富士(富士市)
お問合せ・入会のお申込みは
TEL&FAX.072-793-8684
詳しくはホームページで
吉川二郎 検索

スペインの食文化をより楽しめる選りすぐりのワイン輸入・販売
Estarico Japan Co., Ltd.
株式会社エスタリコ・ジャパン
「これ、美味しい！」を通じて、日本とスペインの架け橋に
〒108-0074 東京都港区高輪1丁目4-23-1401
Tel: 03-3443-9580 / Email: akihiro@estario-japan.com
<https://www.estario-japan.com>

スペインタイルの総付け教室
& 手作りタイル販売
スペインタイルアート工房
Tokyo/Osaka
大阪市西区南堀江 1-20-23-1003
Tel & Fax 06-4390-6545
Email: spaintile@japan.email.ne.jp
<http://spaintile.art.cocan.jp/>

京都スペイン料理
Tio Pepe
京都市左京区北白川久保田町
52番地 AMUZA26 1F
TEL 075-72-3440

京都 ティオペカサ エスパーニャ
Kioto Tio Pepe Casa España
スペイン各地方のビール・
ワインを取り扱っております
京都市左京区北白川久保田町
52番地 AMUZA26 101
TEL 090-1912-1263

Recuerdos de Ibiza y Formentera



イビサ島とフォルメンテラ島の思い出

地 中海西部のスペインバレアレス諸島にあるイビサ島。自然遺産と文化遺産が共存する世界遺産として知られる美しく歴史深い島である。

透き通るような水色と蒼さを混ぜた地中海の海、水分をたっぷりと含んだ緑葉と綺麗な花々、それらが太陽の光に触れキラキラと輝き、優しい風と共に私達をうっとりとした良い気分にする。

イビサ島といえばヨーロッパを代表する観光地ということだが、それだけでなく例えば城壁に囲まれた旧市街のダルト・ヴィラ地区 Dalt Vila や、その近くにある考古学美術館では独特な文化や人々の暮らし、歴史の流れを見ることができるといえる。

紀元前7世紀頃からフェニキア人は地中海を貿易や資源獲得のために航海した。そしてこの島に最初に定住したのは彼らである。

旧市街は中世の雰囲気を残した要塞都市であり、見事なまでにそのアンティークな時代を感じることができる。ぐるりと旧市街を囲む城壁は頑丈で力強い印象だ。城壁の中へ入ると小さなトンネルの様な通路と小刻みで石造りの階段が上へと続く。長い歴史の間、どれだけの人々がここを通ったのだろうか。

天辺まで行くとイビサ城と小さな聖堂が見えてくる。優々とした城と聖堂の存在感は旧市街のシンボルを思わせる。

ここから見える景色は素晴らしく、その美しさと優雅さは言葉では言い尽くせぬほどである。

広大なマリブルーの地中海、港に停まる沢山の華やかなヨットや船、ふさふさとした緑葉で埋もれそうな幾つかの小島、心地良く頬や身体に染み込む風、静かなさざ波と輝く太陽、トロピカルで楽しそうなビーチ、どこを見ても溜息が出るほど美しい。

考古学美術館は小さな石造りの館であるが中に入ると驚かれるであろう。様々なカルタゴやローマ時代のテラコッタ、アクセサリ、硬貨、生活用品などが幾つも展示されている。こんなにも古い時代に、このような素晴らしい文化があったのだと深い感動を覚える。

古代の人々もきっと生活を楽しんでいたのだろう。そう想像させる優しい丸みをおびた食器や壺、品のある金銀アクセサリ



で古代の時代にタイムトリップしたように感じられる。

フォルメンテラ島はイビサ島からフェリーで40分程で行ける小さな島である。

玄関口であるサヴィーナ港を下りると、まず感じるのはイビサ島より自然溢れる雰囲気であろう。

見渡す限りの青い空と輝く太陽、宝石の様にキラキラとした広い海。海岸には滑らかな海水と白い砂が透けるように見える。清々しい潮風はまるで肌をふわりと包み込むようだ。

心地良い体感と目に映る全ての美しい風景に、大自然の偉大さを感じてみる。

など、その感性やデザインは現在も受け継がれているのではないだろうか。

考古学美術館のすぐ横には、フェニキア、カルタゴ、ローマ人の古墳群があり、ひやりとした冷たい地下室へ行くように中へ入ってみる。洞窟になっている場所には幾つかの墓があり見学できる。実際に墓の中を覗いてみると、故人の所持品などがいっしょに埋葬されているのが解る。

墓の蓋などにフェニキア文字のようなものも見え、これがアルファベットの元と知られている。

フェニキア人の居住地跡サ・カレタ Sa Caleta は海のすぐ側の高台にある。建物は全く残っていないが、石組みの土台はしっかりとおり貴重な遺跡である。

イビサ島をゆったりと散歩してみる。するとファッションやクラブシーン等を含む現代的観光や、音楽などの娯楽からの観点だけではない島本来の姿も見えてくる。

大自然と一体化したように静かで平和に暮らす人々、真っ白な住居と街並み、石の壁や建物、旧市街と教会、迷路のような細い道々など、その情緒ある美しい景観と様子はまるで古代の時代にタイムトリップしたように感じられる。





ダルト・ヴィラの入口

この島には、2000年に創業されたワイナリー・テラモール Bodegas Terramollがある。

このワイナリーはフォルメンテラに深く根ざされた伝統あるブドウ栽培と、地中海特有の特徴と異なったニュアンスを持つワイン醸造に取り組んでいる。

ブドウ園はラ・モラという標高約200メートルの高地にあり、環境に配慮し除草剤等の化学製品を一切使用していない。収穫は全て手摘みで行われ、ワイン醸造のプロセスには一番良い品質のブドウのみを使用している。そのため生産量は非常に限られている。

フォルメンテラ島の自然の中で育つブドウと、愛と情熱を持って丁寧に作られるワイン。

テラモール社のワインを是非味わって頂きたい。品質の高さとヘルシーな味わいにきっと驚かれるであろう。



日西商業会議所

Cámara de Comercio Hispano Japonesa

マドリードにオフィスを構える日西商業会議所 (Cámara de Comercio Hispano Japonesa) は、日本とスペイン間の商業関係促進のために1954年に設立された民間団体です。会員をはじめとして顧客へのビジネスサポート、イベント開催、各種講座の開講、スペイン情報の発信、各種出版など、日本・スペイン間の理解、関係改善に向けた様々な活動をおこなっています。ここでは、日西商業会議所発行『スペイン広報』と記事の一部をご紹介します。



スペイン情報誌 季刊『スペイン広報』

1985年創刊の『スペイン広報』は、スペインの文化、経済をオールカラー、豊富な写真でお伝えする日本語の季刊誌。日本ではあまり知られていない地域の魅力や祭り、アートの他、奥深いスペイングルメ情報も満載。

www.camarajaponesa.com/ja/?page_id=13610



Cámara de Comercio Hispano Japonesa 日西商業会議所

1954 **65** 2019
日西商業会議所

Cámara de Comercio Hispano Japonesa

www.camarajaponesa.com/ja

camara@camarajaponesa.es ☎ (+34) 91 851 12 11

✉ Apartado 10124 - 28080 MADRID - SPAIN

Reportaje de eventos

Instituto Cervantes de Tokio

イベントレポート
 インスティトゥト・セルバンテス東京



第3回 スペイン語・スペイン語圏文化国際会議

日本におけるスペイン語観測所とインスティトゥト・セルバンテス東京が、スペインと日本の外交関係樹立 150 周年を記念し、第 3 回となるスペイン語・スペイン語圏文化国際会議を開催しました。会議は 2018 年 10 月 4 日から 6 日までの 3 日間にわたり行われ、今回は特にセファルディ文化に焦点を当てた内容を取り上げました。セファルディとは、中世に各地へ離散して移住したユダヤ教徒のうち、スペインやポルトガルにルーツをもつ人々を指します。追放を受けた後もセファルディとスペインの間のつながりは生き続け、スペインの言語や音楽、文学など、様々な文化の中にその影響が残されているのです。

開催初日の 4 日は『セファルディ文化の日』と題され、セファルディ音楽の演奏家としてスペインを代表するパコ・ディエス氏のコンサートとともに開幕。コンサートに引き続き、スペイン・ユダヤ人協会の協力のもと実現された写真展「セファルディ発見」のオープニングが行われました。同写真展では、かつてユダヤ人が居住していたスペイン国内の旧ユダヤ人街の

数々が紹介されました。さらに、会場ではユダヤ教の食事規定に従って作られたセファルディのお菓子の試食も楽しむことができました。

2 日目と 3 日目にはラウンドテーブルディスカッションが行われ、より学術的な内容が展開されました。2 日目はスペインから専門家たちが来日し、日本各地の大学から専門家や教授が集まり歴史的側面や文学的側面を取り入れた内容を主に取り上げました。午前の部は「ディアスポラ セファルディとの出会い」、「今日のスペインおよびヨーロッパのユダヤ」と題された講演、また「ユダヤ文化とスペイン文化」をテーマにしたディスカッションの中でセファルディ文化に関する様々な研究発表が行われました。午後の部では、文学作品の作家や編集者、翻訳者の登壇のもと、主に翻訳の面に焦点を当てた講演が展開されました。「編集について：どのように翻訳とスペイン語文学の拡散を推進するか」と題されたディスカッションでは、翻訳を行うにあたりスペイン語の文体を他言語に適応させる最善の方法、そして日本という複雑な市場において、スペイン語

で書かれた作品の出版を促進するための手段についての議論が繰り広げられました。

最終日の 6 日は教授法や言語学を主なテーマとして取り上げ、今年で創立 800 周年を迎えたサラマンカ大学のホセ・ヘスス・ゴメス・アスンシオ教授が登壇し、スペイン語を言語学的視点から見た講演で幕を開けました。続いて、スペイン、ラテンアメリカ、日本からスペイン語の専門家を招き、前日と同様にラウンドテーブルディスカッションが行われました。この日のメインテーマは「日本人を対象としたスペイン語教育」。このような内容に絞った上で、日本人という特定の学習者がスペイン語を学ぶ際に直面する困難や、それに適した教授法についてのお話が展開されました。

本国際会議の最後を飾ったのはスペインから来日されたセファラド・イスラエルセンター会長のミゲル・デルカス氏。セファルディ文化を促進することの重要性を再度強調し、今年の会議は幕を閉じました。隔年で開催されるこの会議、次回はどういった内容で展開されるのでしょうか！
 文 = ヴィルジーリオ 麗奈



1 セファラド・イスラエルセンター会長のミゲル・デルカス氏
 2 駐日スペイン大使、ゴンサロ・デ・ベニート氏による開会の辞
 3 会議はパコ・ディエス氏のコンサートで幕開け
 4 セファルディのお菓子
 5 ラウンドテーブルディスカッションの様子
 6 「セファルディ発見」の展示会
 7 最終日の登壇者とインスティトゥト・セルバンテス東京館長ビクトル・ウガルテ



スペイン味うおっちんぐ

第3回 蜂蜜

la miel

体に良くて美味しい物が多すぎるというのは難儀な話である。食いしん坊の悲しいところで、今まで何の気なく食べていたのに、ある日突然、記憶を覆すように魅了され、回を重ねる毎にさらに美味しい物を探さずにはいられなくなる。そうすると、体重と財布の中身が反比例曲線を描いていく悪循環となる訳である。

その1つが蜂蜜。日本にいる頃は“大事にちよつとず食べる高級嗜好品のイメージ”があり、加えて、どんな食べ方があるのかもよく分からず、トロリと垂れ落ちる琥珀色の液体を存分に味わった記憶はない。蜂蜜には幾つもの種類があって、香りや味わいだけでなく、それぞれの効果が異なるということを知ったのは、実のところ、スペインに来てからだった。

働き蜂が、数百もの花を渡りながら、花蜜を胃(蜜のう)に溜めて巣に持ち帰り、その蜜のうに蓄えた花蜜を、貯蔵担当の働き蜂に口移しで渡していく。ここからは貯蔵担当の働き蜂が35度という高温の巣の中で、自らの羽ばたきにより風を送り、さらに口でかき混ぜて水分を蒸発させる。働き蜂の唾液に含まれる酵素が加わって、花蜜のショ糖はブドウ糖と果糖に分解されて成熟し、ようやく蜂蜜ができるのだ。

蜂蜜同様、蜂たちの贈り物であるローヤルゼリーはアミノ酸を含み非常に栄養価が高く、プロポリスは天然抗菌物質として、その優れた抗菌効果か

ら古代エジプトではミイラを作る際に使用されていたという。

蜂たちが膨大な作業をこなしながら、一生懸命に作った栄養素の塊のような副産物をまるごと掻っ攫っていくのだから、本当に申し訳ない限りである。せめてもの償いに、蜂蜜の残った瓶にも牛乳を入れてチンし、最後まで有難く頂いている。

ちなみに、自然と蜂、巣箱があれば、あとは蜂たちが全てやってくれるのだから、スペインには自家製蜂蜜を作っているご近所さんというのは結構いて、毎回、蜂蜜の空き瓶を預けておく常連さんもいる。自然のまま凝固したトゥロンのような蜂蜜は、独特の口当りが食べ慣れると癖になってしまう。

蜜蜂が好んで訪れる花は、日本ではレンゲ、アカシアが有名だが、世界4000種以上あると云われ、ここスペインではハーブと蜂蜜が密接に関係している。つまり、薬草として古くより人々の生活の中に取り込まれていたハーブそれぞれの花蜜より作られる蜂蜜は、蜂蜜そのものの効果だけでなく、それぞれのハーブの特性を持ち合わせているということになる。

ローズマリーやタイム、ユーカリなど、聞き覚えのあるハーブ以外にも珍しいハーブ蜂蜜が沢山あり、淡い黄色から濃い茶色に色づくグラデーションは見ているだけでも楽しい。料理好きな貴方なら、お好みのハーブ蜂蜜を数種類使い分けるとなかなかオツなキッチンになるのではないだろうか。



例年10月になるとバレンシア地方のAyoraという小さな村では蜂蜜祭りが開催される。小道は道全体が小さな博物館&モニュメントになっていて、一度通過すると、蜂蜜博士にでもなった気になる楽しさ。頭上ではグロテスクな巨大蜜蜂がお出迎えてくれる



- 1 蜂蜜祭りでは出来たての蜂蜜の試食もかねて、村のオバサンチームがたっぷり蜂蜜を垂らした手作り揚げ菓子を販売している
- 2 巣箱から出し、遠心分離機にかけた出来たてホヤホヤのバージン蜂蜜。蜂の巣もそのまま口へ入れて蜂蜜だけを味わえる
- 3 日本では滅多に見られないクリーム蜂蜜。粘度が高いためパンなどに塗っても垂れにくく、独特の食感が味わえる
- 4 蜂の副産物を使った商品。化粧品や石鹸、キャンディー、飴と様々な物がある



● Miel de Romero / ローズマリー蜂蜜
 スペインで最も一般的なハーブとも言えるローズマリーの蜂蜜だが、ローズマリーの品質により極上の蜂蜜となり得る。胡桃、アーモンド、果物やデザート最適。体内を活性化するうえ、リチウムの含有率が高く、物忘れやうつ病など精神疾患の緩和を促す。

● Miel de Tomillo / タイム蜂蜜
 味わいがありタイム独特の強い香りが魅力的。カッテージチーズやフレッシュチーズにもよく合う。消化を促進し、乾いた咳や喘息の発作を和らげる効果がある。鎮静作用もあり、睡眠不足、便秘にも。

● Miel de Azahar / オレンジ蜂蜜
 オレンジの花蜜から採れる蜂蜜。非常に芳香豊かでまろやかな味わい。就寝前にインフュージョンや牛乳などに混ぜると良い。お年寄り、お子様を問わずに、リラックス効果が期待できる。

● Miel de Espliego / ラベンダー蜂蜜
 爽快感があり、アイスクリームに混ぜ込んだり、紅茶に少し混ぜてもエレガントな味わいを楽しめる。消化促進に加え、咳や特に気管支系の患いを伴う風邪にも効果が高い。皮膚の炎症を治めるため火傷の治療としての使用も可能。

● Miel de Brezo / エリカ蜂蜜
 味わいが深く、秋の落ち葉や土、きのこを思わせる。僅かな苦味と塩味が感じられ、豚肉料理に非常に相性が良い。ミネラル分が多く、利尿効果、リウマチ緩和、整腸作用の他、貧血の予防にも効果がある。

● Miel de Eucalipto / ユーカリ蜂蜜
 ユーカリの香りと独特の微かな苦味がダイレクトに感じられる。咳を伴う風邪や喉や肺など気管支系の炎症にも非常に効果がある。

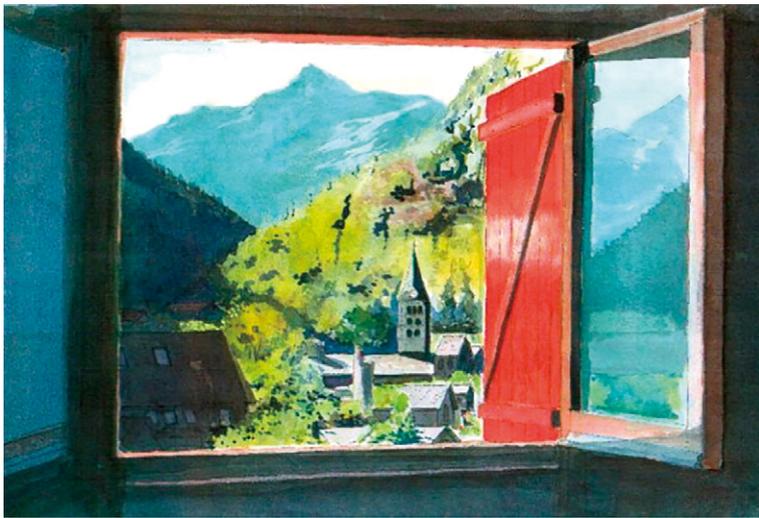


片岡 治子 / Haruko Kataoka
 大阪府出身。1991年より渡西。スペイン全土を食べ歩きの後、スペイン家庭料理研究家として料理教室を主催する他、WEBや雑誌等のレシピ・コラムの執筆を手がける。スペイン国内で営業業務、某ワイナリーの販売業務を経て、バレンシアを拠点に日本市場に向けて食材・飲料の輸出業務を中心に行う「オルカ・スペイン ORTIZ&KATAOKA, S.L.」経営。一夫二男一女一匹と共にスペイン田舎生活現在進行中。

オルカ・スペイン
www.orkaspain.com/orka@orkaspain.com

スペインの風景に魅せられて

スペインの各地を旅するとき、世界遺産、パラドール、白い家と花通りなど、多くの場所で個性的で美しい景色に遭遇し感動します。その思い出を水彩画で楽しく表現しました。



Parador de Arties

万年雪の山の景色を望める客室

ピレネー山脈は中学時代に社会科で習った頃から、行ってみたいと思っていた地域だった。それから数十年の歳月が過ぎ、北スペインのバスク自治州のビルバオに仕事で住むことになり、週末にはよくピレネー山麓をドライブした。このパラドールに泊まる機会に恵まれ、ホテル(106号室?)の窓から見るピレネー山脈の残雪がとても印象的であった、さっそく部屋から写真を撮ろうとしたが外の強い太陽の明るさでピントが合わず、絵にする以外には無いと思い画用紙をとったことを思い出す。さて、この Arties パラドールは18世紀のガスバル・デ・ポルトラ侯爵の館を利用したもので、正面には万年雪に覆われた標高2862mのモンタルト山が望める素晴らしい景色である。ぜひお勧めの場所だ。



Parador de Arties
 パラドール・デ・アルティエス
 住所: San Juan, 1, 25599 Arties, Lérida
 電話: +34 973 64 08 01
 WEB: www.parador.es



牧瀬 貢 / Mitsugu Makise

一般社団法人横浜スペイン語センター前理事長。横浜市戸塚区在住。1961年、ブリヂストン横浜工場にエンジニアとして転勤、ここを拠点に数多くの国内・海外経験を積む。ドイツ、カナダ、米国、イギリス、スペインに駐在。短期的な出張含め世界100ヶ国を経験。とりわけ、最後の駐在地スペインの風土、国柄に惚れ込み、北部バスク・ビルバオに駐在、休職中に17州51県をくまなく廻り、また定年後、思い出の場所での絵画制作を楽しむ。

スペインのお勧め
バル・レストラン
 Bares y restaurantes recomendables

Vol. 22
Giralda IV
 ヒラルダ (Madrid / マドリッド)

Giralda IV
 Calle Claudio Coello, 24, 28001 Madrid
 +34 915 76 40 69
www.restauranteslagiralda.com

※掲載情報は、2019年1月時点のもので変更する可能性があります。



今回紹介するヒラルダは、マドリッドの2つの地域にそれぞれ店舗をもつアンダルシア料理のレストラン。特にサラマンカ地区にある店舗は、セビーリャのパーティオに来たような雰囲気の中でアンダルシアのタパスを楽しませてくれるので、「これぞスペイン!」という雰囲気を味わいたいときにお勧めだ。

カディスのワインやシェリーと、シーフードのフライをつまむと、一気にアンダルシア気分も高まる。ウエルバ産のエビや、カディス産のモハマも欠かせない。

レストランのオーナーは元闘牛士のカルメロ・エスピノサ氏で、両方の店舗を歩き来つつ、時々カウンターにも立つ。ある日、とても気さくで素敵なかマレラ(ウェイトレス)のマリアちゃんのことを「彼女はとっても素敵ね!」と褒めたら、「そうでしょう、彼女の父親と同じようにね」とウィンクして自分を指さした。家庭的な雰囲気は、きっとこの父娘のおかげもあるのだろう。

またこのレストランのもう1つの名物は、サラマンカ地区のレストランで毎週金曜日の23時から行われる歌手とギタリストによるフラメンコ音楽のショーだ。ショーが盛り上がってくると、客が飛び入りでセビジャーナスを踊ったり、オーナーのカルメロが闘牛士のカボーテの動きを披露したりと、これもまたアンダルシアの夜に迷い込んだような気分を楽しめる。



- 1 アンダルシアのパーティオそのままの雰囲気
- 2 アンダルシアのフリットゥーラ(シーフードのフライ)
- 3 モハマ(マグロの生ハム)もアンダルシア名物
- 4 オーナーのカルメロは元闘牛士
- 5 毎週金曜日のフラメンコ音楽のショーは飛び入り歓迎



中村 美和 / Miwa Nakamura

情報工学修士、日本での電機メーカー勤務を経て、2007年に渡西。マドリッドにていくつかの企業のウェブシステム開発等に携わった後、CROSSMEDIA WORKS,S.L.を起業。主に観光や食に関わるプロモーションや、雑誌、ガイドブック、テレビなどの取材コーディネートその他、マドリッド情報を発信するtodomadrid.infoなどを運営。 @n_miwa @spain_go

「変わりゆく世界におけるスペインと日本」

写真提供：京都外国語大学 広報室



2018年は、日西修好通商航海条約の締結(1868年11月12日)から150年目を迎え、その記念すべき年に、日西各地でこの関連行事が行われている。京都外国語大学では、10月27日に、日西外交関係樹立150周年記念シンポジウム「変わりゆく世界におけるスペインと日本」が開催された。大学関係者、研究者、大使館関係者、一般市民を合わせて50人を上回る来場者があった。スペイン大使館文化担参事官のホセ・アントニオ・デ・オリ氏による開会の挨拶のあと、2つの基調講演が続いた。1つ目は、バルセロナのポンベウ・ファブラ大学、ギジェルモ・マルティネス・タバネルネー博士による「19世紀におけるスペインと日本が共有するグローバル・ヒストリー」であった。博士は、昨年出版した著書をもとに、19世紀後半にアジア地域で萌芽的な「グローバルイズム」が存在していたという前提に立ち、そのなかでスペインは、すでに後退しつつあった「帝国の再生」を図ろうとしていたとする。つまり、この場合のグローバルイズムとは、ナショナリズムの脱国境化であり、そこには、列強間の勢力均衡という目的以外に、深刻な内政問題を抱えるスペイン政府が自らの求心力を固めるという意図が背後にあったという。しかし、それはきわめて不確実性を帯びていた。他方、わが国には、不平等条約によって不利益を最小限に止め、自らの対外進出を推進しようとする明確な意志があった、と博士は述べている。2つ目の講演は、長崎大学教授の木村直樹博士による「近世日本における西欧文化との交流と通訳・翻訳

ースペイン通詞不在期におけるオランダ通詞の視点から」であった。幕末の交渉では、基本的にオランダ語を介して他言語が解された。オランダ語通詞が大変重宝され、明治時代になって外交官など、政府役人として活躍する者も少なくなかった。ところで、1868年の条約締結では、スペイン語を介して交渉は行われなかったようである。概して、鎖国時代にスペイン語を解する日本人は皆無ではなかったが、キリスト教禁止の徳川幕府の治世において、彼らが自ら進んで表舞台に出てくることは稀であったという。基調講演のあと、さらに4つの分科会が同時開催され、熱心な議論が展開されたのち、大盛況のうちに閉幕となった。この紙面をお借りしまして、当日お越しいただきました関係者の皆様に心より御礼申し上げます。

文 = 牛島 万

シンポジウムの全景。50人以上の来場者で賑わっていた



木村教授の講演



左上:ギジェルモ・マルティネス・タバネルネー博士 / 右上:開会の挨拶をするホセ・アントニオ・デ・オリ氏 / 左:木村直樹教授



牛島 万 / Takashi Ushijima

京都外国語大学准教授、博士(言語文化学)。専門は、スペイン・ラテンアメリカ地域研究、国際関係史。主な著書に、『米墨戦争前夜のアラモ岩事件とテキサス分離独立—アメリカ膨張主義の序幕とメキシコ』(明石書店、2017年)、『現代スペインの諸相—多民族国家への射程と相克』(編著、明石書店、2016年)など。

講演

2018年11月8日
京都大学
こころの未来研究センター

「フラメンコとアヴァンギャルド 過去と現在」



講演会の様子。下の写真の左の方は、日本語通訳イヴァン・ディアス・サンチョさん。講演はスペイン語と日本語の両言語で行われ、スペイン語ネイティブの聴講者も多数出席していました

情緒あふれるギター旋律、心奥から叫ぶように歌うカンテ、華やかさと力強さを同時に表現するサバテアード、これらはいずれも他国では見られないスペインのフラメンコ特有のもの。それでは、フラメンコは一体どこからやってきたのでしょうか。そもそもフラメンコの何が「定型」と見なされているのでしょうか。フラメンコ大国の日本全国津々浦々、大勢の愛好家がありますが「スペインの伝統」という看板の下で意外と知られていないこの文化の変遷と改革の歴史。今回参加した講演はその変化の部分に切り込むという大変興味深いものでした。京都大学こころの未来研究センター主催「フラメンコとアヴァンギャルド 過去と現在」。講師は現代音楽作曲家のミゲル・アルバレス・フェルナンデスさん、スペイン国营ラジオ番組「アルス・ソノラ」のパーソナリティーを務めている方。2時間の講演はスペイン語と日本語の通訳の両言語で行われ、大変濃い内容であったという間に時間が過ぎてしまいました。

講演はフラメンコの定義困難性への言及から始まり、アンダルシアに定住したヒターノたちの歌のみがフラメンコを形作ったのではなく、アラブ、ユダヤ、クラシックなど時代ごとにイベリア半島で振興した諸音楽からの影響を指摘され、続いてヒターノたちのフラメンコ(家族や仲間同士の歌)からショーとしてのフラメンコ(カフェ・カンタンテ以降)と、時代を追ってこの文化の社会的役割の変化を解説いただきました。その中で、特に異端とみなされるような実験的フラメンコのパフォーマンスに挑戦した歴代の芸術家のビデオを複数ご紹介いただき、古典ではなくむしろ時代の最先端技術と向き合い、融合するようなフラメン

コの革新的側面を窺い知ることができました。

20世紀初頭のスペイン前衛芸術とフラメンコの交わりについても解説いただき、特に重要な芸術家として紹介されていたのはヴァル・デル・オマル(1904-1982)。日本ではあまり知られていないですがルイス・ブニェルと同様に実験映画を作っており、講演ではその1つ「グラナダの水鏡」をご紹介いただきました。グラナダの水鏡や点滅する空といった魔術的イメージにフラメンコの拍子が重ねられるという面白い作品で、今回の講演の中では最も印象に残りました。

スペイン内戦により前衛芸術的なフラメンコが中断されて表現が制限されたこと、また同じ楽曲でも時代が古い方が自由に奏でられ、20世紀以降に作られたものは古典的な特徴を帯びていることなど、過去と現在を比較して、必ずしも後者の方が表現の幅が広がっていると断言することはできない事実も学びました。最後に、現在活躍している革新的アーティスト、2019年2月に来日公演を行うイスラエル・ガルバンや、ニーニョ・デ・エルチェなどをご紹介いただきました。

文 = 宮田 渚(acueducto編集部)

今回参加した講演の内容はacueducto WEBのブログで詳しく記述していますので、ご興味のある方はそちらもぜひチェックしてみてください!

ミゲルさんは講演後の質問にも気軽に応じてくださいました





**International
House**
San Sebastian



サン・セバスティアンでスペイン語と文化を学ぼう！

ラクンサ・インターナショナル・ハウスは、スペイン北部
バスク地方のサン・セバスティアンにあります。

スペインとバスク、伝統と革新。
2つの文化が融合するサン・セバスティアンは、食文化で世界的に有名な街です。

サン・セバスティアンで、スペイン語と文化を学び、新しい味の体験を！



お問い合わせは

Lacunza International House

Camino de Mundaiz 8,
Entlo D, 20012
San Sebastián,
España

+34 943.32.66.80
info@lacunza.com
www.lacunza.com

lacunza.ihsansebastian
 lacunzaih
 lacunzaihss

D.E.L.E.試験準備コース4週間

インターナショナル・ハウス提携校



El Diario de ADELANTE

スペイン情報誌「acueducto」を制作しているのは、
有限会社ADELANTE。
その一部のメンバーたちの日常をお伝えします♪



Kaname Ikemoto

morsa (セイウチ)、dugongo (ジュゴン)、pez payaso (カクレクマノミ)……。これらは11月初旬に三重県の鳥羽水族館へ行った時に学んだスペイン語の生き物の名前です。近頃メキメキとスペイン語力をUPさせている息子(4歳)に負けまいと、これからも地道に語彙力を磨いていきたいです!



Alex Colominas

僕の趣味の1つは……ベースギター!! 16歳で初めてベースを買って、それから25年間弾き続けています。好きなアーティストはQueen、Iron Maiden、Pantera、Dream Theater、Rush……と数えだしたらキリがありません! スペインのバンドではHéroes del SilencioとSociedad Alkoholikaが大好き。皆さんもぜひ聞いてみてくださいね♪



Alejandro Contreras

温泉は、日本で好きなものの1つです。日本人が健康で長生きなのは、温泉の効果もあると思います。この写真は和歌山県の白浜旅行の時のもの。温かいお湯に浸かりながら眺める海は最高でした! 健康にも良いし、今年も温泉にたくさん入ろうと思います。オススメの温泉スポットがあったらぜひ教えてください。



Marta Soler

日本に来て驚いたのは、カフェでコーヒーを注文するとプラスチックの使い捨てコップを使い、パン屋でパンを買うと1つ1つビニール袋に包んでから紙袋に入れることです。私はコーヒーはマグカップで出して欲しい、パンはビニール袋を使わないで紙袋に入れて欲しいと言うようにしています。皆さんもエコに意識を向けて、資源の大量消費・無駄遣いをなくしていきたいですね。



Maho Takemura

クリスマス・お正月・レジェス・マゴスと心躍る季節です。12月は街中のデコレーションがとても綺麗ですが、我が家でも密やかな楽しみとしてブレイモビル社のベレン人形を飾って楽しんでいます。



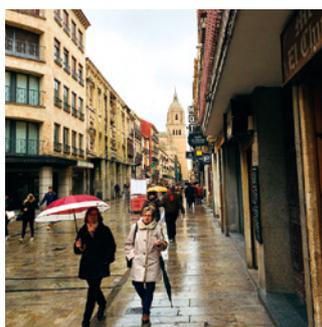
Mayu Tsuji

昨年11月の3連休は実家のみかん狩りのお手伝い。やっぱり家のみかんが一番甘くて美味しい!! これまで買って食べたことはありません。笑 小さいサイズのはスペイン語でmandarinas、大きいのはnaranjas と言うようです。



Mikel Berradre

Olentzero はバスク神話の人物。何百年も昔から語り継がれていくうちに姿を変え、今ではバスク地方のサンタさんとして愛されています。子供たちは12月25日に彼から贈り物もらいます。そしてレジェス・マゴスと同様に、悪いことをした子供には墨を贈ると云われています。姿勢は酔っ払った炭焼き人、善良な心を持ち、去勢した若鶏と卵とワインを持っています。



Jesús Ángel Martín

サラマンカはカステリャ・イ・レオン州の美しい街。僕にとっても思い出深い場所で、ここで数年間、幸福な学生時代を過ごしました。この場所で僕は妻と、また生涯の友人たちと出会いました。時々、サラマンカがとても恋しくなります。美しい路地を散歩したり、趣たっぷりのテラスでコーヒーを飲んだり……。皆さんにも、サラマンカへの旅行をぜひお勧めいたします!



Nagisa Miyata

昨年10月末はフラメンコダンサーのイスラエル・ガルバンの公演を観に、埼玉まで行ってきました。これまでフラメンコといえばスペインで観たものも含めて伝統的、古典的なものが多かったので、初めてのガルバンはいろいろと衝撃でした。その後フラメンコの講演を聞きに行ったり今号特集を組んだりと、昨年の秋冬はフラメンコ文化に多く携わることができました♪



Adela y Antón

アデラとアントン「¡FELIZ AÑO NUEVO! Ojalá se cumplan todos tus sueños.(新年明けましておめでとうございます! あなたの夢がすべて叶いますように)」アデラ「今年もADELANTEの皆と一緒に、楽しくスペイン語&スペイン語圏文化の学習を続けよう!」アントン「よろしくお祈りします!」



españolé

ih International House
Valencia

最高のスペイン留学がかなう場所

バレンシア

DELE合格率
90%以上



日本人スタッフが
現地でサポート



およそ80万人が住む国際色豊かな都市
旧市街カルメン地区の中心地
11世紀のイスラム時代の遺跡の残る歴史的な校舎をリニューアル
年間300日以上のお天日
安全で良好な治安
パエリア、ショッピング、スペインバル、サッカー、ビーチ、歴史、文化、現代建築
教師は大学卒のネイティブスピーカー
74カ国からの学生たち
様々なニーズに合わせたスペイン語コース

NEW!
SIELE準備コース
開設!!

ih International House
Valencia

IALC International Association of Language Centres

Instituto Cervantes
Centro Acreditado

C/ Caballeros, 36
46001 Valencia, Spain
☎ +34 96 353 04 04
sayaka@ihvalencia.com (日本語でお問い合わせ可)
www.espanole.es/jp (日本語サイト)
www.ihvalencia.com



Actividad de Flamenco

フラメンコ アクティビティ

～エスパニョレ IH バレンシアでフラメンコ アクティビティを堪能～

フラメンコ レッスン



アクティビティ担当
DIANA
アクティビティカレンダー

エスパニョレ IH バレンシアでは週に6日アクティビティが行われます。内容は市内ツアー、料理教室、旅行、舞台鑑賞、ビーチバレー、美術館ツアーなど盛り沢山！
その中でも、私たちの文化や伝統の一部であるフラメンコに関するイベントは人気です。生徒達と一緒にフラメンコ鑑賞に行くだけでなく、フラメンコレッスンの時間を共有することはとても楽しいです。

フラメンコマジックを共に感じ、この素晴らしい芸術を鑑賞後の生徒達の感動の目を見ることはとても嬉しいことです。フラメンコを一度感じたら、やみつきになります！



エスパニョレの多目的教室で行われたアロマ先生によるフラメンコレッスンをのぞいてきました！

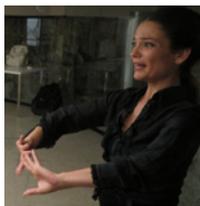
今日は6人の生徒さんが参加して先生からフラメンコの基本を学びました。

先生はマドリードからつい最近バレンシアに越してきたばかりのバイラオーラ。タブラオで踊りながらフラメンコレッスンも行うパワフルな先生。とても分かりやすく親切に教えてくれました。小さな体から溢れるエネルギーには圧倒されました！

まずはパルマ(palma)の練習から。今回はタンゴ型、8拍で1コンパスの練習をしました。(compásとはフラメンコのリズムパターンのこと)ソルダ(sorda)というこもった音やセコ(seco)などの高い音、簡単そうに見えてなかなか難しい！次に足もつけて。

ジャマダ(llamada)の練習もしましたよ。

1時間びっちり基礎を学び、汗だくになりました！



今日の先生

Aloma de Balma



バレンシア、マドリード、バルセロナ、セビージャのタブラオで踊るバイラオーラ。コンセルバトリオ(音楽学校)で スペインダンスを学び、Cristobal Reyesや Maria Juncalなどにつき世界中を回る。演劇やテレビなどのプロジェクトにもダンサー、振付師として参加。自らのショーPAS-SOS ITACAを2008年に開催。

http://www.alomadebalma.com/Aloma_de_Balma/Bailaora.html

フラメンコ鑑賞



S.A. さん

日本でも何度かフラメンコを観たことがありましたが、やはり本場は違います。会場全体がシンクロしているようで、緊張感や高揚、息遣いまで自分のことのように感じる迫力がありました。またスペインにいる間にぜひ観にいきたいです。

フラメンコは言わずと知れたスペインを代表する芸能。フラメンコと言えば踊りを思い出すかもしれませんが、発祥の元は歌と言われています。歌(cante)、ギター(guitarra)、舞踏(baile)の組み合わせだった上演を、今回はバレンシアの北駅のすぐ近くのFlamenco At The StationとCafé del Duendeにて鑑賞してきました。

■ Flamenco At The Station
<https://www.flamencostation.com/>

■ Café del Duende
<http://cafedelduende.com/>

講師は
ネイティブ

レベル別
少人数クラス

振替オプション

一般参加OK
特別クラス

月謝払い

豊富なコース

お問い合わせ

大阪校

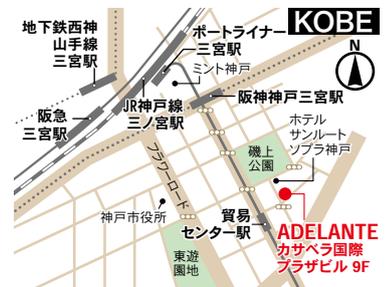
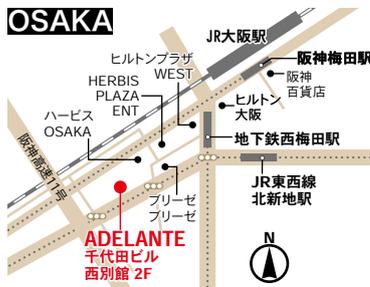
TEL:06-6346-5554

大阪市北区梅田2-5-8千代田ビル西別館2F FAX:06-6110-5122

神戸校

TEL:078-230-2022

神戸市中央区磯辺通1-1-18 カサベラ国際プラザビル9F FAX:078-230-2023



info@adelante.jp

スペイン語の本&雑貨
オンラインショップ アデランテ
ADELANTE

学習テキスト、文法問題集、レベル別副読本、
D.E.L.E.試験対策本、絵本など各種取り扱っています。

www.adelanteshop.jp

携帯・スマホからはこちらへQRコードを読み込んでHPへ



spainryugaku.jp

スペイン・中南米への留学は

スペイン留学.jp

Estudiar en el extranjero

スペイン・中南米への留学手続代行

安心して出発できるよう、全力でサポートいたします。



留学相談、手続き代行無料サービス

- スペイン91校、中南米23校と提携
- 担当スタッフは全員留学経験者
- 実際にスタッフが現地視察しているので安心

スペイン人
スタッフが在籍

スペイン語圏
留学専門

代行手数料
0円

携帯・スマホからはこちらへQRコード
を読み込んでWEBへ



(本誌28-29ページに学校情報、お手続きの手順を掲載しています。ご参照ください。)

資料請求/お問い合わせ

5都市にご相談窓口

www.spainryugaku.jp
info@spainryugaku.jp

大阪 ☎ 06-6346-5554 | 神戸 ☎ 078-230-2022 | 名古屋 ☎ 052-766-6406
東京 ☎ 03-6869-6435 | 福岡 ☎ 092-517-9535

受付 月～土 8:30～21:30 有限会社 ADELANTE